京城日報
本日朝刊夕刊共六頁

第三次ソロモン海戰

敵戰艦二隻に大損傷

巡艦十一、驅艦七乃至九撃沈破

大本營發表（十八日午後三時三十分）十二日以來戰闘續行中の帝國海軍部隊は十三日夜間ガダルカナル島敵航空基地を猛撃、飛行機およびその施設に大損害を與へ、さらに翌十四日敵機の猛烈なる反撃を排除しつゝ味方輸送船團を護送中、同日夜間同島の西北方において戰艦二隻、大型巡洋艦四隻以上を基幹とする敵増援艦隊に遭遇、これと激戰の結果、その補助部隊の大部を潰滅し、戰艦二隻に重大なる損傷を與へ、これを南方に敗走せしめたり、現在までに判明せる十二日以來十四日までの綜合戰果ならびにわが方の損害左の如し

一、艦船撃沈 巡洋艦八隻（うち新型三隻、うち五隻轟沈）驅逐艦四隻乃至五隻輸送船一隻
大破 巡洋艦三隻、驅逐艦三隻乃至四隻、輸送船三隻
中破 戰艦二隻

二、飛行機撃墜 六十三機
撃破 十數機

三、わが方の損害 戰艦一隻沈沒 同一隻大破 巡洋艦一隻沈沒 驅逐艦三隻沈沒 輸送船七隻大破 飛行機二十二機自爆 九機未歸還

（註）十二日以來十四日までの海戰を第三次ソロモン海戰と呼稱す

日米主力艦初めて交戰

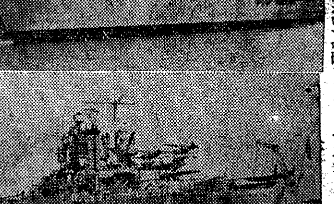
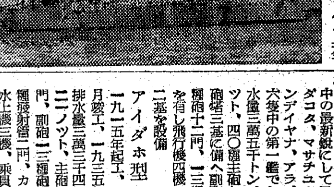
【東京電話】緒戰以來疾風枯葉を巻いて殺到する帝國海軍の猛襲をこの一點に支へんとする敵米國海軍が傷痍の身に背を決し大艦隊、大船團をもつてソロモン諸島ガダルカナル島周邊に出撃し來つたのは八月七日未明であつた、わが所在海上兵力および航空兵力は機を失せず瞬時にして敵艦隊に殺到し航空部隊は必殺の晝間攻撃をもつて、また艦艇は得意の周邊强襲をもつて敵艦隊輸送船團を寸斷し去つた、しかるに敵は驚くべき粘着力をもつてその作戰企圖を捨てず、ガダルカナル島の敵航空基地を死守せんとして執拗にその方面の敵有力艦隊および船團はしきりにその周邊に出没、かくて海陸を通しての大激闘は開始され、わが海鷲は晝夜を分たず敵飛行場を急襲、猛烈なる空戰および爆撃をもつて五百十九機以上を破碎したが、敵は必死に飛行機を増援注入し遂にわが主力艦は暗夜同島周邊に進入した、主砲、副砲悉く烈火の砲門を開き、敵飛行場に巨彈を集中、潰滅的損害を與へるに至つた

一方この間敵増援海上兵力の合同を繞り第二次ソロモン海戰は決行され、サボ島沖夜戰は敢行され壯烈なる南太平洋海戰の展開となり第三次ソロモン海戰となつたのである、この間わが陸上兵力の増强せられたることはもとよりのことである、前數次のいづれの海戰にも劣らぬ最も敢闘の様相すさまじかりしは十二日より十四日に至る第三次ソロモン海戰の三日間であつた、敵はまたしても有力なる艦隊をもつて船團を護送しつゝガダルカナル島に到達した、火蓋は俄然十二日に切られた、白晝まづわが海鷲の大編隊は戰爆相連合して續々敵艦隊上空に殺到、ガダルカナル島敵飛行場より舞ひ上りわれを邀撃する敵戰闘機と猛烈なる空中戰を演じつゝ敵艦隊を猛襲必死に濃藍の海にじくざくの航跡を印して逃避する敵艦艇群に捨身の猛撃を浴びせ、敵艦船の火災は天に冲し、あるひは轟沈し、あるひは重油の波紋のうちに沈沒し去り敵機またあるひは一台火となり、他は黒煙の尾を引き海中に沒して行く、夜となつた、機影はなく南溟の戰場は暗々たる闇であつた

わが海上部隊に肉迫攻撃を敢行せんとして全艦隊を擧げて徐々と敵艦隊内に進入、突如としてわが戰艦は砲門を開き主砲の巨彈は眞紅の尾を引いて續々敵艦に命中、補助艦艇群また主砲、副砲悉く敵に砲火を集注、小艦艇は脱兎の如く敵艦に馳せ寄り魚雷はすさまじき水柱を奔騰させ敵艦は轟沈あるひは撃沈、火災は夜空を焦し大海戰に一段の悽愴さを加へた、わが方にもまた多少の犠牲はあつた 驅逐艦二隻は遂に兇彈と刺違へて波間に沒し、殊勲の戰艦は夜明りとともに猛烈なる敵機の攻撃をうけて大破し、その後遂に僚艦に守られつつ海面より沒したのであつた、明くれば十三日、殺氣漲々たる戰場は不氣味な靜寂を示した、

薄暮のころわが艦隊はすでに猛烈なる行動を起してゐた、目指すはガダルカナルの敵飛行場である 巨彈は敵飛行場に爆發した、艦砲の一齊砲撃である、各艦火となつて飛行場に集中砲火を浴びせる、敵機は一瞬にして飛び散りあらゆる附屬軍事施設は濛々たる火焔に包まれて行くのであつた、頃合ひよしと見るやわが艦隊は突如砲撃を中止し一隊にして闇に呑まれた、海に神出鬼沒である、十四日の朝はほのぼのと明けた、わが大船團は艦隊に守られつゝガダルカナル島に近迫した、敵機はまたしても新鋭を繰出し執拗にわれに喰ひ下り、しきりに攻撃を續行、またしても海空の激戰は開始された、敵の猛烈なる抵抗を排除しつゝわが船團よりは猛爆を冒して陸上部隊が續々と島に上陸、輸送船七隻を失ひつゝもわれは兵力増强に成功したのである、確固こむる戰場に夜はまたしても訪れた、わが戰艦一隻は補助艦艇の中樞をなし敵艦隊の邀撃を擬期して展開、今や遲しと待つ、敵艦隊また必死であつた 新鋭巨艦ノースカロライナ型およびアイダホ型を含む少くとも戰艦二隻、大型巡洋艦四隻以上を基幹とする一大艦隊は多數の補助艦艇を從へて突如として戰場に出現した 一大海戰は瞬時にして火蓋を切つて落した、わが戰艦は敵戰艦群を目指し猛然と攻撃を開始、巨砲は唸りを生じて敵主力に集中した、わが補助艦艇はわが戰艦の猛攻に掩護されつゝ輕捷に行動を起し砲戰、魚雷戰の閃々たる探照燈の光のうちに激烈を極めて展開された、夜戰は激戰混戰を極めてゐる、ノースカロライナ型には魚雷二本以上命中、アイダホ型には三本以上命中した、わが主砲は一瞬にして敵戰艦の艦橋を吹き飛ばした、十數發の主砲彈が敵戰艦に命中したのだ、わが戰艦も被彈しきりである、敵の巨艦が突如誘爆を起し火災を起した、敵補助艦艇群は早くも全滅である、炎々たる猛火とともに續々海底に沒して行く、敵主力艦は艦首を轉じ戰場を離脱せんと滿身創痍の身を倉皇と逃れ去つた、しかも一隻の補助艦艇も隨かぬ、すでにその大部は海底深く沒し去り或は大破炎上しつゝ戰場にのたうち廻つてゐるためであつた

この海戰が一大死闘たるの故に同夜の我損害もまた輕少ではなかつた、わが殊勲の戰艦は敵の砲彈を受けて大破し、巡洋艦一隻は沈沒、驅逐艦一隻また沈沒したのである、我陸上部隊の眼前に展開された第三次ソロモン海戰はかくて終つたのであるが、敵の出撃企圖はなほ顧々たるものがあり寸時の油斷も許さぬのである

大損傷の米戰艦（上）ノースカロライナ型（下）アイダホ型

中破米戰艦

第三次ソロモン海戰において中破せしめた敵戰艦の要目左の通し

ノースカロライナ型（米戰艦）一九三七年十月起工一九四一年四月竣工した米戰艦中の最新鋭にしてワシントン、サウスダコタ、マサチユウセツツ、インデイヤナ、アラバマの同型艦六隻中の第一艦である、基準排水量三萬五千トン、速力二八ノツト、四〇糎主砲九門を三連裝砲塔三基に備へ副砲として一三糎砲十二門、一三糎高角砲八門を有し飛行機四機、カタパルト二基を設備

アイダホ型（米戰艦）一九一五年起工、一九一九年三月竣工、一九三五年改裝、基準排水量三萬三千四百トン、速力二一ノツト、主砲三六糎砲十二門、副砲一三糎砲十二門、五三糎發射管二門、カタパルト二基水上機三機、乘員一千三百二十八

在モロッコ邦人 無事西領に避難

【東京電話】米軍の佛領モロッコ侵入に對し三谷駐佛大使から在留邦人保護について萬全の措置を講ずべき訓電を受けたカサブランカ駐在高和領事は在留邦人合計十一名を引率して十四日無事スペイン領モロッコのタンジエールに到着した旨十八日外務省へ報告があつた

米兩艦長戰死發表

【リスボン十七日同盟】ワシントン來電＝アメリカ海軍省は去る十三日ソロモン水域における夜戰でアメリカ戰艦々長ノーヤン・スコット少將ならびにアメリカ甲巡サンフランシスコ號艦長キヤシン・ヤング大佐は戰死を遂げた旨十七日發表した

扇の要ソロモン

彼我、太平洋決戰の鍵

【東京電話】八月七日火蓋を切られたソロモン群島を中心とする南太平洋水域における日米海戰は決戰また決戰今日まで實に百餘日に及びその制空海權爭奪を續けて第一次、第二次ソロモン海戰、南太平洋海戰、第三次ソロモン海戰と彼我血みどろな大海戰の連續であるこの間敵米國は實に艦艇撃沈破百十三隻、飛行機撃墜破八百五十機以上といふ大損害を蒙つてゐるにも拘らず米國は何故かくも執拗に新艦隊、飛行機を増援破れても破れても出撃して來るのであらうか今さら多言するまでもなくソロモン群島を中心とする南太平洋の制空制海權の歸趨こそ太平洋戰局を左右するものであるからである、米國海軍の創設者故セオドール・ルーズベルトは廿世紀の初頭サンフランシスコにおいて

金門灣頭に立つて遙かに太平洋上に顯はする水平線を望めば米國將來の盛衰は遍にこの線に横はるを思はざるを得ない、米國が將來大をなすと否とは一に太平洋を支配すると否とによることを知らなければならぬ、廿世紀は太平洋の時代である

と獅子吼して以來米國は太平洋の制海權掌握をもつてその國是とし海軍擴張に全力を傾けつゝあつた もちろんこの目標は日本海軍撃碎にあり、對日侵攻基地として南はハワイ、ミッドウエー、ウエーキ、中央はミッドウエー、北はアリユーシャンなどの軍事施設强化に汲々としてゐたが、大東亞戰爭が勃發するや忽ちこれら諸基地は皇軍の占領あるひは撃破するところとなり、今や米國の太平洋における對日最前線據點は濠洲、ソロモン群島、ハワイ、ミッドウエー、ダッチハーバーなどを結ぶ線にまで後退せざるを得なくなつた これらのうちソロモン群島を中心とする南太平洋は太平洋における對日反撃の巨大な足場たる濠洲と米國を連絡する重大な意義があり敵にして一度ソロモン群島を中心とする南太平洋の制空制海權を喪失せんか米濠連絡は一大危機に瀕し濠洲ハワイ間に點在する一連の島嶼にも脅威は加重され加ふるに濠洲で東印度諸島、マレーの資源線を喪失しこれに代る資源線として目下抱込みに躍起となりつつある南米諸國がさらに直接間接太平洋からの壓力を感ずることとなり、されば米國としてはソロモン群島を中心とする南太平洋の制空制海權はあくまで死守せねばならぬ

太平洋の地圖を凝視するならばソロモン群島が日米兩國の扇の要をなしてゐることを知るであらう、まさにソロモン群島こそ日米太平洋決戰の要であり鍵である、しかも近代戰が航空基地作戰であることを思ふときこの要の歸趨こそ今後の太平洋戰局を決定づけるものと斷言しても敢て過言ではなからう、しかしながらこの扇の要は太平洋戰局の現狀と結びついてのみ重要な意義があるのでそれは決して昭南、ジブラルタル、パナマのごとき如何なる情勢においても軍事交通上の重要據點としての意義があるのとは異り、あくまで現狀においてその地理的位置が彼我双方に對して比類なき戰略上の重要性をもつてゐるといふだけのことである

米國はソロモン群島にしてこの重要性が失はれるまで今後ともさらに新増援部隊を執拗に出撃せしめるであらう、わが方もまたこの敵勢力を驅碎し去り南太平洋の制空制海權を完全に掌握し、太平洋戰略態勢を確立するまでは第四次、第五次のソロモン海戰を戰ひ拔かねばならぬかく觀じくるときソロモン群島爭奪戰の意義こそ重且絕大といふべきである

撃沈破艦船百十三

第一次海戰以來の戰果

【東京電話】第一次ソロモン海戰より第三次ソロモン海戰まですなはち八月七日から十一月十四日までの百日間ソロモン群島を中心として南太平洋水域において撃沈破せる敵艦艇ならびに撃墜破せる敵飛行機およびわが方の損害左の如し

敵側

	撃沈	大破	中破	大破又は中破	計
戰艦	一	一	三	〇	五
空母	四	二	二	〇	八
巡洋艦	二七	五	〇	〇	三二
驅逐艦	二〇	七	〇	三	三〇
潜水艦	九	一	〇	〇	一〇
掃海艇	一	一	〇	〇	二
艦型未詳	〇	〇	〇	三	三
輸送船	一七	六	〇	〇	二三
合計	七九	二三	五	六	一一三

飛行機撃墜破八百五十機以上

わが方

	沈沒	大破	中破	小破	損傷	計
戰艦	一	一	〇	〇	〇	二
空母	〇	一	〇	二	〇	三
巡洋艦	三	〇	一	一	二	七
驅逐艦	六	一	二	〇	〇	九
潜水艦	一	〇	一	〇	〇	二
輸送船	五	一〇	二	〇	〇	一七
合計	一六	一三	六	三	二	四〇

飛行機自爆および未歸還二百六機
大破卅一機

海戰別の戰果およびわが方の損害左の如し

第一次ソロモン海戰（八月七日―八月十四日）

	撃沈	大破
巡洋艦	一三	一
驅逐艦	九	三
潜水艦	三	一
輸送船	一〇	〇

飛行機撃墜 五十八機
わが方の損害 巡洋艦二隻輕微な損傷、飛行機自爆廿一機

第二次ソロモン海戰（八月廿四日）

	大破	中破
大型空母	一	〇
中型空母	〇	一
戰艦	〇	一

わが方損害 小型空母一隻沈沒 驅逐艦一隻大破

ソロモン群島方面作戰（八月廿五日―十月廿五日）

	撃沈	大破	中破
空母	一	一	一
巡洋艦	三	一	〇
驅逐艦	五	〇	〇
潜水艦	六	一	〇
輸送船	六	二	〇
掃海艇	一	一	〇
戰艦	〇	一	〇

飛行機撃墜四百三機、撃破九十七機、損害十九機

わが方損害

	沈沒	大破	中破
巡洋艦	二	〇	一
驅逐艦	二	一	二
潜水艦	一	〇	一
輸送船	五	三	二

飛行機自爆廿六機、大破廿一機、未歸還七十八機

南太平洋海戰（十月廿六日）

	撃沈	大破	中破
戰艦	一	〇	〇
空母	三	〇	〇
巡洋艦	三	〇	〇
驅逐艦	一	三	〇
艦型未詳	〇	三	〇

飛行機撃墜八十機以上、その他空母沈沒に伴ふ喪失など合計二百機以上
わが方損害 空母二隻、巡洋艦一隻小破、飛行機未歸還四十數機

第三次ソロモン海戰（十一月十二日―十四日）

	撃沈	大破	中破
巡洋艦	八	三	〇
（中新型 三）			
驅逐艦	四乃至五	三乃至四	〇
輸送船	一	三	〇
戰艦	〇	〇	二

飛行機撃墜六十三機、撃破十數機

わが方損害

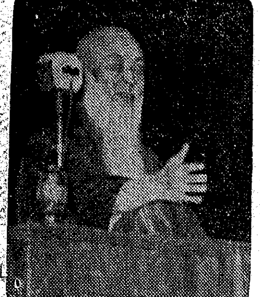
	沈沒	大破
戰艦	一	一
巡洋艦	一	〇
驅逐艦	三	〇
輸送船	〇	七

飛行機自爆卅二機、未歸還九機

皇道の本義（一）

今泉定助

今泉定助先生の皇道宣揚大講演會は十八日午後三時より本社主催京城府民館大講堂において滿場立錐の餘地なき眞摯なる聽衆を前に開催、今泉先生は皇道の本義なる演題下に、滔々一時間四十分にわたり我が國體の本義を說き、聽衆に深き感銘を與へたが講演の要旨は左の如くである



壇上の今泉定助先生

溢れ出る思想、行爲

萬邦無比の日本精神

皇道の本義と題しまして國家の御本義を闡はします。

近頃は誰も彼も日本精神であるとか、皇道精神であるといふやうなことについてお話申上げてゐますが從來の古典研究の方法が宜しきを得ませんために、本當のところまでに至つてゐない方が多いのであります。古典研究には矢張り一つの方法があるのであります。

從來、我々の大先輩であります本居先生、平田先生等といふ方々の時代におきましては言語研究、文字の研究、字句、文章の研究だけでありました。それですから言語の解釋、字句、文章の解釋といふことに至りましては恐らくは至れり盡せりと申しても差支ないと信じてゐます。今日の文獻だけで研究する人々は矢張りそれだけで終つてゐるのであります。内地におきましても、帝國大學の研究も國學院大學の研究も、それから伊勢の皇學館等の研究も矢張りそのものだけの研究であります。一番それを代表してゐますのは、四、五年前に文部省から出されました『國體の本義』――これは御覽になつてをる方も多數おいでのことゝ思ひます。今日の學者ではそれ以上のことは判りません。學者といふものは大ていは他から非難を受けない程度で書いてゐるのでありますからどうしても淺くなります。淺いから人を感激させるところまで參りません。あなた方が御覽になつてさへ感激するに足らぬと致しますれば、ヨーロッパ人、アメリカ人その他の外國人を感激せしめることは思ひもよらぬことであります。日本の古典は果して外國人を感激せしめ得ないものと致しますれば、萬國無比の國體であるとか、日本精神であるとかいつて世界に誇るものは何物もありません。

古典に學ぶ國體

さうではない、日本の國體の萬國に優れてゐるところは何處に一番殘つてゐるか。それは色々なところに潜在してゐませう。けれども最も殘つてゐるところは古典であります。この殘つてゐる點を顯現することが古典專門家の最も努めなければならぬところである。文部省の『國體の本義』のやうな上邊に出てをるところだけ見るといふことならば、敢て專門家を要しないのであります。それをあなた方が御覽になつても得るところはないのである。何も專門家を煩はす必要はないのであります。ないのではない。奧の奧、底の底にあることを發掘するのが專門家である。

日本の國體は萬國に卓越してゐるといふことは一體何處から出て來たのでありませうか。我々祖先の思想においても道徳においても宗教においても他の民族と全然違つたものを持つてゐたからその思想、行爲が溢れて國體をなしたものである。根のないところへ萄は生えて來る譯がない。我々の祖先が思想的にまた倫理、道徳、宗教、哲學等他の民族と異つた立派なものを持つて他の民族と比べものにならぬ立派なところを持つてゐたため、その思想、行爲が溢れて國體をなした。

萬國無比の國體等と申しましても實行に現さなければ何の甲斐もないことである。今までの學問、教育の姿にはそこにまづいところがある。言ふだけで實行をしない。實行しなければ百萬の言論も何の價値がありませう。そしてまた、學問でも道徳でも宗教でも、一切のものが我々の實生活に卽したものでなければならぬ筈である。實生活を離れて何の政治がありませう、經濟がありませう、宗教がありませう、道徳がありませう。民族の生活を向上せしめ、平和ならしめ、發展せしめて行く上においてこそ、宗教も必要であり、學問も必要であるのであります。

實生活から離れて何の政治、經濟があるか。今までのやり方は實際に遊離したやうな感じが多いのである。例へば口には國體が明徴でなければならぬ。教育勅語を實踐しなければならぬ。八紘一宇の御精神でなければならぬといふことは、何人も日本國民として唱へないものはないのであります。

歐米流思想の禍

それならば、さういふことが政治に現れてゐるかといふと、我々の實生活を支配するのに一番大切なものは政治である。その政治が果して皇道政治であるか、皇道經濟であるか、外交は如何、法律は如何、洵に遺憾千萬である。けれども政治も歐羅巴の飜譯政治であり、法律も經濟もそれである。外交もそれである。教育もそれである。さういふ工合に悉く六、七十年間實生活をやつて來てゐるのであります。

何處に國體が明徴になつてゐるか。何處に教育勅語が實踐せられてゐるといへませう。國體明徴は今まで通り實生活を離れてはない國民の實生活の上に顯れてこそ國體明徴である。教育勅語は果して實踐せられてゐるか。奉讀だけで一向實行せられてゐないのではありますまいか。口にだけは國體明徴でなければならぬ、教育勅語の實踐でなければならぬと、内閣の變る每に第一に標榜してゐるけれども、その實踐の上において、只今申上げるやうに、政治も教育も一切西洋の飜譯もので今日に至つてゐることは事實であり、何人も否定することは出來ない。然しながらこれは誰も惡い意味でやつてゐるのではありませんし、最善の方法を盡す積りで今日に至つてゐるのでありますが、教育といふものが實際を離れたやうな教育になつて來てゐるのでありますから、惡いと思はずに最善の方法なりと信じてやつてゐるとが豈圖らんや國體といふものをはつきり教へられてをらぬためにそれと離れる。これほど國民にとつて不幸なことはないと思ふのであります。

この考へがお互に祖先の血が流れてゐるのでありますから、所謂滿洲事變を契機としてこの十年くらゐの間に澎湃として日本民族の間に起つてきたのである。何處かに日本の姿でないのではないか、何か足らぬのがあるのではないか、或は缺陷があるといふやうな氣分が國民の肚の底に湧き起つたのであります。これが輿論となつた。學者の三人や五人がそんなことを申したからといつて何も輿論といふものは起るものではないが、歐羅巴の飜譯だけではなく、東洋民族の精神といふものを含んでゐないのではないかといふ心持が肚の底から湧き起つて來たのであります。

それが滿洲事變を機會と致しまして、こゝ十年餘りの間に勃然と起つて來たのである。役人もなる程さうでなければならぬといふことをだんだん考へられるやうになつた。今まで誰も惡い積りでやつて來てゐるのではない。最善の方法を盡す積りであるけれども、國

國體とは何ぞや

國體といふものはどういふものであるかといふことを申しますれば、誰でも國體の中心は 天皇であると同時に全體であらせられると說いてゐる。その通りである。その國體の全體である 天皇の御ことなどといふことは、あなた方何處でもお習ひになつてをりますまい。それだから私は率直に、國體といふことは今まで教育してをらぬ——と、かういひたいのであります。勿論 天皇の御本體でも說けば不敬にあたるやうに感じてゐた時代もあつた。

極めて卑近に申しますれば、例へば 天皇は人であらせられるか神であらせられるか等といふことを申しましたならば、多くの人はどう考へるでありませう。内親をお持ちになり、皇后様、皇太子殿下、内親王様もあらせられるのに今ごろ 天皇は神であるか、人であるかといふことをいつてゐるのであるから、國學者などは問題とならない。或は口の先では現人神であるといふから、神様といふ考へを起す人もありませうけれども、多數のこれまでの教育をやつた人について見れば、必ず人間であらせられる。そんなことは問題にするに足らぬとまで感ずるであらうと思ひます。そこが國體の岐れ目で、天皇は人であらせられるといふならば、人として御輔弼し奉らなければならん。また神であらせられるといふならば神として御輔弼し奉るべきでありますから、そこが國體の分岐點である。

その分岐點さへはつきりしないそれであるからして、歐洲の皇帝と日本の 天皇とどう御違ひになるか。また戰爭前であるならば、英國の皇帝と日本の 天皇とはどうお違ひ遊ばすかといふことが問題になります。それならば、日本の 天皇はヒトラー、ムツソリーニと同じことだといふことになる國體の中心であらせられる 天皇の御事さへ大臣において國民が理解してをらぬといふ位である。國體に關する教育といふことはお互ひに受けないで來たのである。それだから大學の文學博士であり、教授であり、或はあの人は大臣まで勤めた人であるからよく知つてゐるだらうと思ふと大間違ひ、やつぱり同じことである。何處でもそんな教育を受けてゐないのであるから矢張りわからない。天皇の御事がわからぬのでなく、日本の國の姿についてさういふことが多い

それだから思想といへば何處も同じこと、倫理道徳は支那から教へられたのである。宗教の思想等は佛教から習つたのであらう——とかう學者さへ書いてゐる。相當な學者の日本國民道徳論等を見ましても、支那の倫理道徳を書いてゐるが、支那の倫理道徳と日本の倫理道徳とは全然別だ。彼は相對倫理といふ對立したものであり、日本は絕對倫理で一である。例へば君臣と申しますと同じやうでありますけれども、支那のいふ君臣は對立したものでありますから、君主に對して忠義は盡さなければならぬが、如何に臣から忠義を盡してもわからなければそれは君主が君たらざるのであるから、また臣たらずとも宜しい——といふ道徳である。『君、君たらずんば、臣、臣たらず』といふやうなことを許してゐるのである。それからまた、君主に惡い間違ひがあれば、三度まで諫めてそれでもいけなければ聽かぬ方が惡いのである。三度目には去つても宜しい——とかう教へてゐる。卽ち二元であり對立である。

先づ掴め日本精神

高宮本社長の挨拶

私は茲にわが國學の泰斗であり日本精神の研究において當代比儔をみないといはれる今泉定助先生を御紹介申します。

現在わが國は振古未曾有の大東亞戰爭を戰つてゐるのであります、この戰爭たるや、わが三千年來世界に誇る金甌無缺の國柄が、その隆替の岐路に立つてゐるのでありまして、更に八紘爲宇のわが肇國の大精神が顯現されるか、否かに係つてゐるのであります。

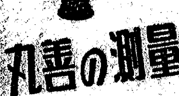
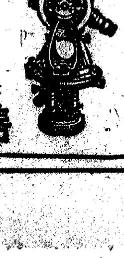
來月八日をもつて滿一年を迎へますところの、この期間における大東亞戰爭の戰果は、陸ははるかビルマ、印度國境に、海は太平洋印度洋に亘る廣大なる水域に擴つてゐるのであります。かくて米英の勢力を完全に大東亞から驅逐いたしましたは、御稜威によるところではありますが、また皇軍の勇戰奮闘のたまものでありまして感涙を禁じ得ないものがあります

しかし戰爭は飛行機が飛び、軍艦が走り、大砲の唸つてゐるところにおいてのみ行はれてゐるのではないのであります。銃後におきましても、農村に、鑛山に、或は工場に、われわれ市民生活において續けられてゐるのであります。而もそれは形の上のみではありません。最も熾烈なる戰ひは目に見えない思想においてであります。物が足りない、配給が惡いとかさういふ愚痴をならべたり不平を鳴らしたりするその聲、それは日本人の口を藉りて敵國人がいはせてゐるのであります。

武力では皇軍の威力をもつてすれば恐らく難事ではないことを私は確信します。それよりももつと恐るべく、警戒すべきは我らの周圍において戰はれてゐる思想戰、神經戰であります。この戰ひに勝つてこそ初めて完き戰捷といふことが出來るのであります。

然らばこれに勝つ方法は如何にすればよいか。それは他でもなく日本精神の確實なる把握であり、體得であり、實踐であり、これ以外にはないのであります。これについて小磯總督閣下は就任後、機會ある每に諭示されてをります。今泉先生はわが思想界の最高峰でありまして、小磯總督の諭示せられてゐる皇道の本義も、道義朝鮮の確立も、先生の解明によつて更に明確に我々の胸底に烙印せられると確信するものであります。

本邦生命保險の開祖
明治生命
東京 丸の内

測量器械の丸善


●トランシット●
●レベル●
詳細型錄呈上
京城本町二
丸善

社説 統制會への權限委讓

一

政府は十七日の閣議で、重要産業統制會への委讓に關する權限の範圍を決定、關係各省より最後的方針を決定、その要綱を發表した。經濟新體制確立要綱に基く重要産業統制會發足以來正に滿一ケ年、權限委讓の懸案はこゝに一應解決を見たわけである。統制會への權限委讓は統制會の本質から見て、當然その設立と同時に行はるべき性質のものであるが、この權限委讓がかく遲延したことは統制會の機能發揮に相當の時局的支障を來したことを意味し、この點遺憾ではあるが、遲れたとはいへ、それは我が戰時經濟機構再編成の過程に劃期的目標を引くものであり、この結果統制會はこゝに力強き資料を得て、活潑なる統制活動に入ることゝなるわけで、我々はまづ以つてこの政府の英斷的措置を喜ぶものである。

二

現在統制會は種々の角度より批判を受けてゐる。それは多くの場合統制會の未熟性乃至未完成に對してなされる懷疑的の批判である。例へば統制會自體の思想的動向であるが、現在の各統制會の活動はなほ資本主義的、自由主義的香ひを拔け切れず、自由經濟時代のカルテル的存在を脱し切れないとする論であるが、確にかゝる傾向は統制會の所謂指導者が依然として財界との關係を斷ち切れず、眞の指導者原理に基く指導をなしてゐないこと或は財閥の統制會への牽制が統制會自體の活動力を牽制してゐるといふことなどの事實に徴しても、否定出來ないところである。文官廳の統制力がセクショナリズムから未だ脱し切れないことも、統制會の活動條件が未だ整備してゐないといふことなのである。更に明確にいふならば、實に官廳の權限の委讓が行はれてゐなかつたといふところに統制會の無能化があつたのである。かゝる意味において今回の權限委讓は正に...

三

しかし、かゝる統制會の不活發性は何といつても、その統制會の機能が最大の由因があるのではないか。即ち統制會が統制會としての機能を發揮出來ないのは、統制會を構成するものの無氣力と官廳、財界などの外部よりする支援、理解が不足してゐるといふこと以外に、統制會の活動條件が未だ整備してゐないといふことなのである。更に明確にいふならば、實に官廳の權限の委讓が行はれてゐなかつたといふところに統制會の無能化があつたのである。かゝる意味において今回の權限委讓は正にカンフル注射的な手當ともいふべきもので、その効果の甚大なるものあるを期待し得るのである。

四

さて統制會に委讓される權限は『重要産業團體令』における生産、生産用材の配分、生産品の配給に關し統制指導上必要なる權限及び企業整備の促進上必要なる權限』とあるが、率直にいつて、これだけの權限委讓では統制會の統制活動を百パーセント發揮せしめるためにはなほ不十分であるであらう。また統制會側が熱烈に要求しつゝあつた統制會の政府物資計畫への參畫は、法規として明記されず、關係各省において事實上の問題として實現化する方針に決定したといふが、斯く統制會の實力が十分考慮されてゐない感がないでもない。しかし政府は更に將來委讓すべき權限についても相當に考慮してゐることを言明してをり、又今俄に多くの權限委讓を行ふことは行政力の推進に混亂を起さしめることとも考へれば、この程度の權限委讓もまた諒解し得るところである。何れにせよ統制會はこゝに活動力の根源的條件を具備するを得て新しく前進を開始するであらう。政府はこの權限委讓を以つて能事終れりとせず、更にこれが擴充育成の道を講じ、財界また統制會の新活動に積極協力すべきである。

恩命に輝く四千餘柱

大東亞戰爭第二回 支那事變第四十三回 論功行賞發表

【東京電話】畏き邊りではこの度陸軍關係大東亞戰爭第二回死歿者論功行賞および支那事變第四十三回死歿者論功行賞の御沙汰あらせられ、十九日午前陸軍省ならびに内閣賞勳局よりそれぞれ發表された、今回輝く行賞の恩命に浴した將兵は大東亞戰爭においては南方方面諸戰の戰果獲得に活躍せるものが大部分で、その他は支那大陸および滿洲において支那事變以來奮戰し引續き大東亞戰爭に奮戰し戰死或は戰傷死せるものであり そのうち金鵄勳章を賜りたるものは、さる五月廿八日浙贛作戰に第一線兵團長として奮戰中、蘭谿附近に於て不幸敵の埋沒せる地雷に觸れ壯烈なる戰死を遂げた酒井直次中將をはじめ二千七百六十名、このうち功績拔群にして殊勳甲の恩命を拜した者は、ジャワ攻略で戰死を遂げた久野一幸大尉以下十二名である、また支那事變關係で金鵄勳章を授與せられたるものは箭吹克己少佐など千六百八十七名、右のうち殊勳甲は村田令三中佐をはじめ六名である

大東亞戰關係

＝殊勳甲＝

功四旭六 大尉 久野 一幸 熊本
功五同 少尉 今川 拙二 福山
功五旭七 軍曹 長谷作次郎 福島
功六同 同 前島 正信 熊本
同 同 同 今田 洋三 廣島
同 同 伍長 佐竹 傳次 高知
同 旭八 兵長 東岡 茂 愛媛
同 旭七 伍長 和田 勇 同
同 同 兵長 渡邊 一士 同
同 同 同 森山 久巳 廣島
同 旭八 伍長 町倉 金雄 鳥取
功五旭七 曹長 内海 繁三 廣島

＝一般＝（佐官以上）

功二旭一 中將 酒井 直次 東京
功四旭二 少將 市田 一貫 廣島
同旭三 大佐 [illegible] 一雄 石川
功三同 中佐 森本 保文 和歌山
功四旭二 少將 上崗 良雄 三重
同 同 同 國田 晟之助 兵庫
功五旭四 少佐 栗原 盛彪 横濱
同 旭五 同 四條 勝次 靜岡
功四旭三 同 安部潤五郎 山形
功五旭五 同 松元 欣一 鹿兒島
同旭四 同 川越 榮重 鳥取
功四旭三 同 森長 本吉 島根
同旭四 同 山根 清 鳥取
功三旭三 中佐 佐藤 三作 富山
功五旭五 少佐 堀 [illegible] 熊本
功四旭四 同 池内 淺造 兵庫
功五旭四 同 杉原 秋夫 岡山

支那事變關係

＝殊勳甲＝

賜杯 大佐 谷山 利濟 鹿兒島
小綬 中佐 白木 原昭 大分
功三 中佐 村田 令三 三重
功四旭五 大尉 鈴木 馨勇 北海道
功六旭七 軍曹 鄕 文平 新潟
功五同 同 筱崎 喜代江 福島
功六白色 伍長 柳沼 小太郎 郡山
同旭七 軍曹 井上 清次 和歌山

＝一般＝（佐官以上）

功五 少佐 橋本 九市 福岡
同 同 箭吹 克己 姫路
同 同 近藤 保 愛媛
功四旭四 同 大本 勝美 愛知
同 同 豐田 俊道 香川
同 同 松田 國武 佐賀
賜杯 同 岡田 初正 立川
旭五 同 [illegible]
中綬 大佐 奥野 由郎 兵庫

＝朝鮮關係＝

旭七 [illegible] 加藤 邦明 慶尚南道

祖國日本 【推薦第一席】 萩尾伸吉

蒙古將兵の戰功御嘉賞

李上將以下に勳章贈與の御沙汰

【東京電話】畏き邊りにおかせられては大東亞共榮圏建設のため支那事變において皇軍に協力し、蒙疆方面に作戰した蒙古聯合自治政府軍人の戰功を嘉みせられ李守信上將以下百卅一名に對しそれぞれ勳章贈與の御沙汰あらせられ、又一千八百九十八名の將兵に對し支那事變從軍記章を贈與遊ばされた旨十九日午前陸軍省より發表された、右のうち主なるものはいづれも昭和十五年四月廿九日附をもつて贈與あらせられた、左の六名である

瑞一 上將 李守信、瑞二、中將 扁貴(?)、旭三、少將 突格日勒圖、旭三、少將 札青札布、瑞三、少將 寶青諾爾布

遞信行政實情

委員が視察報告

【東京電話】遞信省委員は去る十月四日より全國各地の遞信行政運用の實情視察のため札幌、仙台、名古屋、熊本、大阪、廣島、熊本の六班に分れて現地に出張し去る十二日の歸還を俟ち全部歸着、各班長の手許において

友邦日本と共苦

汪主席、同胞を激勵

【漢口十八日同盟】來漢中の國府主席汪精衛氏は十七日午後六時ラヂオを通じて『湖南、湖北、安徽の官民に告ぐ』と題し左の如き演説を行つた

余は武漢ならびに湖南、湖北、湖南同胞各位に告げたい和平反共の實はすべて着々と進みつゝある、すなはち國民政府は世界防共協定に參加しついで中日基本條約を締結し中日滿共同宣言を發表、昭和十六年十二月八日大東亞戰爭勃發と同時に國民政府は友邦日本と共苦同甘の聲明を發表中國の進むべき方向を決定したのである、反共について述べるならばわれ〳〵の反共は最初は國内のみであつたが中日滿共同宣言が行はれて以來一歩前進して東亞の核心をもつて共同の反共を結成したものでありさらに日獨伊三國の防共協定に加入してからは世界の軸心をもつて

共同の反共 を完成したのである、現在共産黨の國際勢力はすでに一蹶千丈の頽勢を示し、國内にあつては潰滅の一路を辿りつゝある、しかしてわれわれの反共陣營はかくの如く巨大であり數年にわたる反共工作は完成に向つたのである、和平についていへばわれ〳〵の最初の和平は中日兩國が大アジヤ主義によつて結びついたのであつた、しかるに

大東亞戰爭 勃發以來善隣友好に進み共苦同甘することとなつたのである、友邦日本と同心同徳、相協力して大東亞戰爭の完遂を致さねばならぬ、それでこそはじめて中國は同甘の資格を保たれるのである、國民の保衞は中國多年の念願である余が今説いた和平反共の成功もすでに遠くない、われ〳〵が新國民運動に示された

中華復興と 共榮の使命を深く認識して責任邁進、刻苦耐勞の精神をもつて一直線に進むならば卅年來の總理遺書も危殆に瀕する一方、余は北京に在つて大衆に向つて次の樣に説きわれ〳〵は友邦日本と同甘する前にまづわれわれ自身日本と共苦しなければならないわれ〳〵友邦は現在苦しい立場にあるがわれ〳〵は現在の共苦を將來の同甘に求め團結して責務を分つならば共同目的は達成され、初めて苦痛も消滅する、中國をして光明の大道を進ませるため各位同胞よ努力し前進しようではないか

十八年度本府豫算

愈よ中央と折衝

水田財務局長けふ東上

明十八年度總督府主體にかゝる諸特別會計豫算原案は各局が提出せる要求について編成を進めつゝあつたが十八日總督府の決裁を得、まづ與村司計課長が十八日午後十一時十分發、水田財務局長は十九日大陸でそれ〴〵東上、大藏省との折衝に移ることになつた、既定豫算約十一億二百餘萬円、新規要求額約六億五千餘萬円、その内には當然計上を約束せられる自營增減の費目が相當額に達しており、總額豫算は昨年度の一億五千六百餘萬円を一般經常費に繰延べ、整理を施したものであり、その他の新規要求額の新規事業の大部分は主として生産擴充の國策遂行上重要缺くべからざる新規の如きものであり、戰力增強に直結する的に加ふるとしても戰力增强を中心とするもので、その削減は不可能の觀がある、中心に、この新規要求額が動もすれば十三億円以上に達することは事實で、しかも戰ふ財政の膨張は必至となり、しかも物資の配給統制の統制は極度に規正の件を上することとなるが、これがためには財政の力量をもつて與へ、正しくこれは遂行の方針をもつて過大な歳出を抑制して戰爭の要求を公債發行の限度により、何とかして適宜の手段もつて殘る以外に方法なしとなるかは物動計畫上の問題となるが、事業は現状は今後は物動の關係を抑制力をもつて從來の如く補給されると照して殘るは殆ど數量的の範圍となつた、しかして再び府主體の要綱と在る

物資の輪番切符制

再檢討を要望さる

物資の配給統制の強化に伴ひ、纖維、タオル、ゴム靴、鍋、釜、石鹸など主要家庭用品の配給は切符制度によつて配給されてゐるが、これが配給の實情をみると動もすれば取扱ひに不公正が行はれるのみでなく、却つて不必要な物資の購入、又は配給を受けた物資の他への轉賣等を助長する傾向があるので、これが是正策として
一、各家庭における一年間の各種物資の所要量を調査して實際に必要とする物資を配給するやう改善すること
二、國民總力聯盟の末端組織を活用して割當配給制を採用すること
などの實現方を要請されるに至つたことは注目される

生産部門へ轉換

滿支の半島人を指導

今回來鮮したのは滿洲國、西田水口水力の方が新たに契約が出來たのでその挨拶のためである、又滿洲ならびに北支方面における在住半島人問題については屢々現地當局から非難の的となつてゐるが、第一回大陸聯絡會議においても問題となり總督府から特に指導強化されるに至つたことなく現地當局の積極的な指導が朝鮮當局の要望せられた、これの方向として生産事業方面に轉換、厚生指導すること根本方策を各地首腦者間に諒解が成立した

具體的には輸送政策をとつて在外半島人を優良なる皇國國民化への育成を行ふとともに併せて積極的な生産力の增強に寄與せしめ適當半島人の組織に依るやう指導せんとするものであるかくて右官邸においての成立した根本方針からかねて總督府が實現を企圖しつゝある第二滿鮮國境を企圖した計畫が擴大的に展開實現を豫想しめるに至つた

現場第一主義

西松組林社長語る

西松組林社長は十七日『あかつき』で入城したが左の如く語つた

それと同時に第一主義の我社としてはこの機會に各現場を巡つて見たいのだが十一月早々東京の方でも忙しい仕事もあるので本日現場の所長達に集まつて貰つて現場の報告を聞いたり仕事上に關し種々打合せをする事にし

金融團統制規定

愈よ本月中に認可

朝鮮金融團統制規定は一部改正の上、さきに公布施行をみてゐるが、同統制規定の認可につき、かねて大藏省との間に折衝中であつたが本月中に認可があることになつた、かくて形式的に地方團體への協力を持たしめられなかつた同團統制は、これに依つて公的統制機能が認められ、國民統制會と同一機能を持ち得ることになつた

これまた現戰勢下において戰力增強資金としてその重要度に應じて高い地位を持つことを知れば、期待的增強力を各方面に配給するに至る大部分を圖る 本十七年度公債消化目標十二億一千餘萬円に比べれた して右の場合意味から大東亞建設必要の資金の貯蓄を消化するに燃えた新規の課題とし增強を促して全鮮においての貯蓄の推進增強を擔うことが約束づけられ

學生、作業服等

配給懇談會開催

朝鮮纖維製品卸商組合で同聯合を中心に本府商工課の參集を求めて『作業服、學生服等被服配給懇談會』を開催、製品配給の順序を決定、商業の集約および製品の取扱、各道團體組合の提案事項等について種々懇談を行つた

被服工聯總會

統制委員を選任

朝鮮被服工業組合聯合會では、十八日午前十時より京城ホテルに總會を開き、統制委員選任の件（各道被服工業組合理事長十三名）および定款規程改正の件（新議決時間を一時間延長）を附議、原案通り可決した

夕刊後の市況（十八日後場）

銘柄	期	高値	安値	大引
朝取 短期		[illegible]	[illegible]	[illegible]
東株		[illegible]	[illegible]	[illegible]
新東		[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新		[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡 新		[illegible]	[illegible]	[illegible]
東電		[illegible]	[illegible]	[illegible]
高周波		[illegible]	[illegible]	[illegible]
東株 短期		[illegible]	[illegible]	[illegible]
同 新		[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡 新		[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪新		[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人 新		[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立		[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石		[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐵		[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船 新		[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船		[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重工		[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戸鋼		[illegible]	[illegible]	[illegible]

隨想録

度を極度に制限する目的で玄米食を實施することに決定した▲日本では江戸時代までは概ね玄米を以て常食としてゐたといふことだが玄米には鉛かに一種特有の食味があるが、人間の贅りが嵩じたものか白米食となり壽司米だの胚芽米だのといふのは普通の白米よりも白く磨いたのが贅りとされてゐた▲玄米食にすれば色々な利益があると言はれる第一は腹持ちが良く、病氣にかゝる率も少くなる▲白米になると米の持つ本來の成分が半分減少して栄養價値は下る、けれども一方御百米の膳にあらはれ...▲玄米食で今度の政府の挙も決して無理ではない

文化

巨大なる足跡

大東亞文學者大會の雜感

寺田瑛

今度の大東亞文學者大會は準備期間の短かつた割合に、殊に先例に事務的な手數を要けれ勝ちな文學者の企畫であり、またその進行であつたに拘らず、豫期以上の成果を學げ得たものといふことが出來る。たゞ當初の計畫であつた南方圏からの代表の出席がなかつたのが淋しいが、今になつて考へて見れば、先づ第一回には日、滿、華だけの方が地固め小手調べの意味にはなつたと感ぜられる。

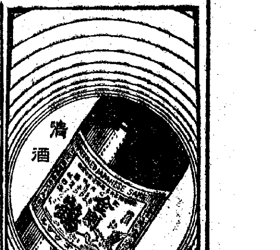
滿洲國からの四人は、古丁、小松、爵青の三君いづれも卅歳を前後した作家で、『紅一點』の呉瑛女史も廿幾つといふ若さだつたが、そこにも滿洲文學の新興らしい潑剌さが傳へてゐたと見ることが出來る

蒙疆からの二人は、全然日本語が出來ないため、隨分苦勞も多かつたらうと察はれたが、それでも恭倫札布君が、一兩ならず懇談會に出て引つ張り出され、この熱誠は涙ぐましいものがあつた。蒙疆の文化もあつた今は亡び、たゞ將來の地の獻吉には、曾て成吉思汗の文化の大東亞文學には、悠々一頭の貢獻でも致したい歡に燃えてゐると云つたのは眞實であつたらう。

華北は錢稻孫氏を始め、張我軍君など、いづれも日本語を解し且つ語り、たゞ沈啓无君だけが通譯なしでは、この間はいはゞ文學者といふ立場であつたに對し、華中は周作人氏に、あるひは新聞に、あるひは大學に、いづれも國民政府の官界方面をあるひは何々委員に、あるひは大學にとはつた具合に分擔してある人が多く、廿七歳の柳雨生君の才氣走つた鋭利さのみが特に眼についた。

日本代表のうちでは、台灣からの濱田隼雄氏が率直にいつて、まだ同人雜誌文學の匂ひは拔け切らなかつた感もあるが、これに配する朝鮮は、香山光郎氏を筆頭に芳村香道、兪鎭午、辛島驍と並べれば、正に堂々たる顏觸れで、殊に、その節度ある行動發言が、常に大會注視の的となつたことは事實である。何といつても、朝鮮は既に成されつゝあるといふことを、まざ〳〵と如實に示したといふべく、この點は朝鮮にある官民も意を強うして然るべきであらう。

委員長の久米正雄氏もいつてゐるやうに『初めから大きい成果は期待せず、顏見知りになるといふだけでも成功だと思つた』のに、その大成果である』といふのは事實であり、また『議長の菊池寛氏が『今度の大會で恐れたのは、いろいろの自己宣傳が出るかと思つたが、そのことなく眞に大東亞を建設する熱意に燃えた議題の闘はされたのは感謝に堪へぬ』といつた言葉も、正に今回の大會に對する内容ある總評であつたといひ得る。



不連續線

羨望

頭髪の黒い男は、兜角人に羨まれる。

『月に一回位染めるのかね』

そんな冗談は常のことで、それは黒いが故に向けられる一應の羨ひであると共に、實は、羨まれてゐることの反證であると解してよい。

その點になると、毛の薄い男は、年齡の如何に拘らず、その禿げ振りが率直であるだけに、羨まれることもない代りに、僻みのある皮肉を受けずに濟む。

私は、常に、禿頭を羨ましく思ふことがある。

京城俳壇 高濱虚子選

京城 齋藤夜秋子
牛島 山下明朗子
馬山 山下明朗子
霜晴れてゆく機構の人ゆきゝ
京城 榮 二扇
北漢の峡がまれる紅葉寺
同 甲元 香焔
ふるびに思ひ耽けて
海州 林 矢石子
このタそこはかとなく草の花
南川 田笛月鈴子
サーカスの檜のできる刈田中
京城 大塚 稱獸
はるかより杖あげて呼ぶ野菊かな

【冬季雜詠】十一月廿日締切▲官製ハガキに一人一枚（句五句以内）▲京城日報學藝部『京日俳壇』宛▲住所氏名明記のこと

文化映畫コンクールの入賞作品發表

社團法人日本文化映畫協會主催にかゝる昭和十七年度文化映畫コンクールは參加作品卅七種中から慎選を重ね綜合賞候補作品として左の三種を、部門獎勵賞作品として左の八種を選定してゐるが、このほど審査委員會から次の如く發表された

▲綜合賞 空の神兵（日映）海軍爆撃（?）の記録（日映）壽慧心園（理研科學映畫）

▲部門獎 以下括弧内は擔當者名 企畫構成＝空の神兵（渡邊義美）演出＝勝利の基礎（中川順夫）脚本＝勝利の記録（多胡隆）撮影＝慈悲心鳥（佐野慈雄）音響＝ビルマ戰記（深井史郎）錄音＝勝利の記録（田川虞夫）進藝の記録（松本豐）海の民（安部慎道）

胸力體力働き人◯ 動悸息切ある人◯ 肺疾肋膜炎の人◯
心臟 に 心力 (胸痛二圓より)
心力本舗 市山福
新聞紙に御注目ノ

豐國火災 戰爭保險取扱 本社大阪 各地扱所
東京 仙台 小樽 札幌 新潟 金澤 名古屋 和歌山 高松 廣島 岡山 下關 福岡 門司 熊本 鹿兒島 京城 ...

手輕に出來る ビノサン ← 鼻病
統計が示す事實 青少年に多い鼻病
鼻の構造や氣候風土の關係もありますが、鼻病に對する無關心と知識の不足に起因するのです。
青少年時代の鼻病は非常に惡化が早く、その病的刺戟が腦を刺戟させ頭痛や、眩暈等から神經衰弱を引き起し勉強や仕事が手につかず記憶力や判斷力まで衰へ、將來ある人生を落伍者として退ける不幸な日を送る實例も澤山あります。が、青少年期は惡化も早い代りに癒ひも早く、早く手當すれば簡單に治る病ものです。
ビノサン療法は内服薬や洗滌療法と違ふ、鼻腔に塗つて一日二回塗布

（ビノサン實驗中の人々）
の新發賣の藥劑で手輕に鼻腔内に吸込ませれば、惡い部分に塗布滲透されその上副作用の心配がありません。鼻を治したら頭腦や仕事の能率も上り、記憶力や判斷力がすばらしくよくなつたなど、大評判です。放つて置かずに一日も早くビノサン療法を御實行下さい。
ビノサン 十日分 [illegible] ・廿日分 [illegible]（合 新案 吸入器付）
鼻病でお困りの方にビノサンがどんな鼻にもきくか詳しい説明書をハガキで申込次第無代で進上けます。
●説明書無代進呈●
悪化すると頭を悪くする
東京市麹町區麹町三ノ五 合資會社 小判屋
大阪出張所 大阪市東區備後町 [illegible]
代理店 [illegible]

B2 國民体位向上！ 幼兒乳兒の發育增進に
結核性疾患 榮養障碍 一般病後衰弱 妊娠産褥時 等に
B1 B2 B6・ニコチン酸等を多量に含有し効果の適確を期す
高單位ビタミンB複合製劑 ビーツー 錠劑 粉末
製造發賣元 帝國社臓器藥研究所（指導服 ）

大東亞戰爭一周年記念號 婦人倶樂部 十二月號 愈々切迫
奉掲用 宣戰の大詔 高松宮殿下御書
大東亞戰爭一周年に際し婦人に告ぐ 東條英機 内閣總理大臣
敵機はわが本土を狙つてゐる 大谷大佐
アリューシャンに闘ふ海の勇士 大岩・納見兩報道班員
勝ち拔くための主婦の生活座談會
愛兒三人を捧げた軍國譽れの家庭感激訪問（須閑寺 健）
大戰下の娘の生活 古谷綱武氏と細川武子女史對談
▲婦人かな書上達手本 高塚竹堂
▲燃料の經濟な使ひ方代用燃料の上手な作り方
▲離乳から滿一ヶ年の健康育兒法
▲肺結核の早期發見と療養法
▲食品と調理の工夫一問一答
元型實物大型紙つき 婦人子供オーバーの作り方
防寒編物と防寒下着の作り方
○日本婦道記 箭竹 山本周五郎
○靖國の妻 母子草 野村玉枝
（評判小説）
▲旅人椰子 中河與一
▲牧草 福田清人
▲愛は血ならず 竹田敏彦
▲海の女 牧野吉晴
五十錢（書店へお早く）
大日本雄辯會講談社

商業登記公告

京城タオル株式會社 [illegible]
[illegible]

第八期貸借對照表（昭和十七年九月三十日現在） [illegible]

第六拾貳回決算報告書（昭和十七年九月三十日） 朝鮮工作株式會社 [illegible]

第八期決算公告 朝鮮皮革株式會社 [illegible]

戰史に燦、不滅の武勳

地下の主人も感泣

故酒井中將夫人語る

【東京電話】大東亞戰下第一回戰歿者論功行賞の筆頭に「旭一」の榮に輝く故酒井直次中將は軍務殉職以來兵團長として初の戰死將であり、その壯烈な最期はいまだ記憶に新しい、去る五月廿九日中支浙江作戰に麾下部隊を率ゐて參加第一線兵團長として敵城攻略に當り、率先陣頭に立つて指揮中果敢に散華したものである、世田ケ谷區駒澤一八一には貞子未亡人(四七)と長男陸士本科生次武君(二〇)長女府立第五高女四年生敏子さん(一六)次女久榮子さん、次女義子さん淑徳第四國民學校四年生敦子さん(一〇)のほか故中將令兄直穆氏(六七)が故中將の居間に祭壇を設け朝な夕なに英靈の日を送つてゐる、祭壇の上には彈痕も生々しい遺愛の軍刀が各方面から寄せられた數々の供物とともに寫眞の前に供へられてゐる、貞子未亡人は謹んで語る

まことに有難いことゝ思ひます武人として死場所を得てすでに本望を遂げた上に本當に身に餘る光榮と地下の主人も感泣してゐるでせう、昨年十二月の行賞で功三級旭二の御沙汰があり、去る五月勳章を拜受したばかりです、これも皆部下將兵方々のお働きのお蔭です、私は殘されたこの子供たちを立派に育て主人の働き足らなかつた分をお報い申上げたいと念じてをります、この間遺品も全部返つてまゐりましたが、遺言めいたものは何もなく、押花や寫眞帖ばかりです、日記もありましたが昔から几帳面な性質でしたので、戰死する前日までこま〴〵と認めてありました

銃劍道の勇士

今川拙二少尉

【福山電話】今次論功行賞で殊勳甲に輝く功五旭六の勳命をかくした福山市道三町今川拙二少尉は御調郡諸田村河波貞一氏の次男に生れ今川家に婿養子となつた人、昭和十年一月現役を志願、郷土の〇〇部隊に入營、日支事變勃發して以來もなく勇躍出征幾多くの大陸に輝く數々の武勳を樹ての後南昌山東方面の殘敵掃蕩に從ひ十三年四月徐州附近の激戰で惜くも負傷を負つて內地に歸還した、その後大東亞戰と同時に再び前線に出動南方作戰に參加、今年一月十七日バタアン半島ナチブ山東麓の敵陣地攻擊戰に勇戰壯烈護國の人柱となつた故少尉は陸軍戶山學校劍術部で幹部候補の銃劍術の達人としてかつて明治神宮の大會に出場數多くの強敵を突き伏せ全國に勇名を馳せた武道の達人であつた、遺族は養父長三郎氏(六〇)義母ひで(五〇)未亡人茂子さん(二〇)の三人、茂子未亡人は

有難うございます、何と申してよいか、本當に感激の外ありません、今日は恰度亡き主人の命日に當りますので靈前で主人もさぞかし感激してゐることでせう

と言葉少なに語つた

第二の西住戰車長

バンドン攻略に輝く久野大尉

【熊本電話】北支徐州會戰に軍神西住戰車長を生んだ〇〇部隊にはまた壯烈極まりない戰功赫々の若き戰車長が生れた、今回功四旭六の殊勳甲に輝くバンドン攻略戰の猛將久野一幸大尉である、同大尉は去る三月六日〇〇部隊の戰車長としてバンドン攻略戰に參加、敵戰車砲陣地が雨霰の如く炸裂するうち突進、天蓋をはねのけてバンドン要塞前面の河に飛びこみ、戰車下に傷々と鐵條網を切斷して再び乘車、敵機銃掃射の雨の中を天蓋を開けつつ立つたまゝ陣頭指揮中惜くも敵彈の華と散つたものである、同戰車長は一旦どうと車內に倒れたが再びすつくと起ちて戰車を押しめてさながら生不動のやうに敵陣を睨んだまゝ息絶えたのであつたが、この不敵の若獅子は第二の西住戰車長として湖々の戰功が謳へられてゐる、殊勳燦たる同大尉の家族は熊本市出水町國府にあり嚴父の三郎氏(五)弟止幸(一)妹里子(一)の兩君と姉のつる子さんがゐるがこの榮譽をもたらすと三郎氏は感激に胸を滿ませながら語る

この度殊勳甲の榮譽に浴したことは御稜威の然らしむるところと部下の方々の御奮闘によるものので感謝のほかはございません、惜しむらくはいましばらく生きて、もう少しお國に盡してくれたらと思ひます、だがよく死んでくれました

その戰果さこそ

ソロモン海戰を語る

山家博士

北米の空に街ゆく人々の足を止めて、よくも斯く怒濤の如く十八日午後三時卅三分――ラジオは一齊に〃大本營發表……〃と力強い語調で去る十一日から十四日にかけて第三次ソロモン海戰における我が無敵海軍の擧げた輝かしい戰果を傳へた、その一瞬、街でも職場でもラジオの前に釘づけにされ一億國民唯感激の坩堝の中に感謝したが、この戰果と興奮を山家信次博士にもたらせば同博士は事もなげに次のやうな感想を語つた(寫眞=語る山家博士)

あの海はアメリカが東亞方面に現存する唯一の航空基地があり、何しろわが海軍は敵の集積を衝いたわけだからその作戰上苦勞も非常なものがあつたと思ふ、僅かの航空母艦搭載機のみでよくもあれだけの敵機を叩き落したものだと感嘆に堪へない、しかしあの大きい戰果を見ると如何にわが海軍が優秀であるかしみじみと感ずる、聞くところによると敵は直擊をするさうだ、しかし命中率はお話にならぬらしいんだ、精神力はいはずもがな、訓練においても、兵器においてもわが方が如何に優れてゐるか、最近アメリカは空母の增強を主體に艦艇の增強に躍起となつてゐるといふから相當に反撥して來ると思はねばならない、しかし乘組員は、仲々さう簡單に一朝一夕で養成できるものではない、その點弱味があるわけだ、しかし資源をたのんでの米の軍備強化に對して我が日本も大いに頑張らなくてはならない

矍鑠老軀ひつさげ 諄々說く皇民の道

今泉先生大講演會盛況

今泉定助先生を迎へての本社主催「皇道宣揚大講演會」は十八日午後三時から京城府民館大講堂で未曾有の盛大さを以て開催された、わが悠久の國體の底を流れる純粹なる日本精神を探求把握體得させる國學の最高權威今泉先生の第一聲を聞かんものと開會二時間前から府民館前に押し寄せた聽衆は刻々とその數を增し寒氣身に沁む府民館前に長蛇の列を作つて待つた、その聽衆は壯年層を中心に老若男女の各層であり、約半數は半島人であるとが特に眼をひく、黑衣の天使を初め延禧專門、男女初等學校敎員の諸敎諭など五千名近くが開館遲しと待ち侘びた、やがて二時半開館と同時に雪崩れこんだ聽衆で場內は忽ち滿員となり入場拒絕のやむなきに至つたが異常な熱意を持つてはせつけた聽衆は容易に去らず遂に再度開館、府民館大講堂全部を開放した、さしもの大講堂も三階の隅々まで聽衆で舞臺の下まで寄詰めとなり廊下の餘部は人で埋まつた、定刻三時開會、倉茂本社事業部長の開會の辭に始まり國民儀禮、高宮本社社長の今泉先生紹介に引續き挨拶あつていよ〳〵八旬近い今泉先生が登壇した、白銀の美髯が照明燈をうけて輝く、師は『皇道の本義』の題下に滔々として流るゝやうな口調で說き出された、開口數分次第に調子が高まつて來るかと思はれた今泉先生は眼前の擴聲器を右手にすると

『これを除きたいと思ひますが後の方は聞えますか』

といふ『聞えます』の返事があちこちから起る、先生は擴聲器を除けて了つた、聽衆の胸に喰ひ入るやうに語りたい先生にとつて擴聲器は煩はしかつたのであらう

『明治維新前後からこのかた國體明徵とか國體の本義とかいふことが盛んにいはれるやうになりました、從來の政治、經濟、外交、軍事などの行き方に何となく國體上出來ないといふ氣持が國民各層の間に勃然とわき上つて來たのです、今までの政治の行き方に何故國體上出來なかつたのでせうか、それは總てが西歐の借り物だつたからです、外國から翻譯された政治であり、外交であり經濟であり敎育であつたからです』

『君、君たらざれば臣、臣たらずといふ外國の君臣觀は君臣を相對的なもの、二元的なものとする、然るに日本では君臣は一體である』

と述べ更に說いて大御心の仲をとりあげ、熱を帶びて來た先生は八十の老齡とは思はれない溢れ出づる熱情にまかせて諄々滔々と說いてゆく、一理論が如何に巧に出來てゐても實生活に卽してゐなければ駄目だ、外國の思想といはれるものは餘りに實生活から遊離し過ぎてゐた、外國の思想は自己保存の爲の存在理想であり、これに反し日本の君臣は君臣の道を明かにしつゝ內鮮一體論に及んで

『內鮮何によつて結ばれるかと申すに倫理であります、道德、道義であります、これを除いては政治も經濟も外交もありませぬ』

と喝破、ます〳〵熱を帶びた先生の言葉は皇道の本義に說き及び

『人間世界の道義、倫理を越えたものとして神倫と申すものがあります、この神倫の境地に立たれるのが　天皇であります』

とわが國體の萬邦無比の所以を說き、われ等が日常何氣なく使用してある『仕事』『奉公』などの言葉を肇國の聖旨に書きつけ

『〃つかへる〃といふも〃まきに奉ずる〃といふもこれ凡て天皇に歸一し奉ることであります』

と凡ゆる職場奉公が同時に皇道臣道の道であることを卑近な例をとり上げて說明すれば滿場の聽衆は身じろぎもせず聽き入つてゐる、中には熱心に筆記してゐる者さへある、かくて四時卅五分一時間半に及ぶ熱血の大講演は旋れるやうな拍手に、聽衆の感激、共感の響を充分殘して終了、館を出る聽衆も深い感銘を胸に大講演第一日を終つた

府民館を埋めた人々と蜿蜒續く聽衆の群

主客盡きぬ熱誠

小磯總督の招待晩餐會

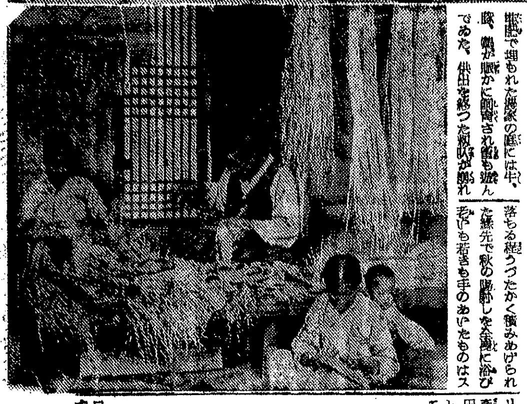
『皇道の本義』の題下に約々たる一時間半の講演を行つた今泉定助先生を主賓とした小磯總督主催の晩餐會は十八日午後六時から總督官邸において田中政務總監、倉田聯盟總長、高宮本社々長、本府各局長、聯盟各部長など列席のもとに行はれたが、席上先づ小磯總督は

先生には多年の御研究を掲げて國體の眞髓につき國民の指導者層に當つて居られますことはかねてより深く敬意に堪へない次第でありますが、今回京城日報社主催のもとに御老齡にも不拘かつ寒氣の折から半島各地を御巡講に相成り御敎示御指導を賜はりますことは洵に感謝の他御座いません、更にまたかういふことが二度三度と相重ねられますならば一層有難く存ずる次第であります

と挨拶を述ぶればこれに答へて今泉先生は

國體の本義がまだ國民全般の間に充分滲透し居らざる憾みのあることは偏にこれ我々自身の責任として慚愧に堪へない次第であります、この時局に於いては小磯總督閣下の如く自ら第一線に起つて皇道宣揚に努められる方が直接統治の大任に當つて居られるといふが如きことはこれ全く他に例を見ない特筆すべきことで全く有難いことゝ思ひます、私は老齡であるがお役に立つことなら如何やうなことでも相果したいと思つて居ります

と感激を述べ主客盡きぬ熱誠を披して同八時散會した



保險牛村を肥らす

部落一戸平均の加入は三口 【三】

草花で埋もれた農家の庭には牛、豚、鷄が賑かに飼育され飯も遊んでゐた、伐出を終つた籾殼が散れ落ちる穗つづたかく積みあげられた緣先で秋の陽射しを全身に浴びて老いも若きも手のあいたものはスリツパ編に餘念がない、生産で增產は部落や小學校だけではないのだ、田舍も增產だ、お國への御奉公と部落こぞつて增產競進曲を奏でてゐる部落がある

讓び廣原の山脈をちよろ〳〵流れる小川に沿つて二十二餘り大田府から一里半、堤防の下に五十戸餘りの藁葺屋根がポプラの並木に寄り合つて立並んでゐるこの部落こそ增產に邁進する柳川面中松里なのだ、夏は南方アメリカに輸出され、外貨獲得にも一役買つてゐた一足二十錢のスリツパは最近南方向けに方向轉換した、二十本で二百円の收入をあげるワングリ(莞草か)は稻籾のつく畦を過ぎた濕地に六月の初め苗を植え九月に刈取り外皮で莚を織るのでスリツパを作る一石二鳥の代物なのだ

【カツト=多忙の叺作業とその手下はスリツパ編みの一族=村井記者】

部落だ、昭和八年三月簡保の表彰をはじめ十數回も多面から表彰された模範部落なのだ、一月三日以上の契約件數をもつこの部落は又國語の部落でもあつた、今年五十九歲になつた部落振興會長の許村永泰さんは部落の現狀をぽつりぽつり語してくれた

狂人扱ひにされながらも十數年間部落を勵めあげた許村さんの部落振興運動は遂に實を結んだのだ、今では家ごとで作る繩だけで月々の保險金が支拂はれてゆくほど保險の徹底した部落になつた

×

昭和十一年一月簡保から買つた一頭の牛は三頭牛になつた、一頭はまんまと飼育者に肥えて、ゆうに一頭を賣られ百円の貯金をした、殘りの仔牛は飼育者のお蔭で殖えてゐるといふ譯だ、牛は部落の至寶[illegible]もかなかつたが現在まで飼つてゐる鷄は數へる程だ、その外どが飲み食ひの經濟になつたのだ、昭和十四年の凶作といひ今年の旱害といひ牛の飼料どころか人間の食ふものさへも――といつた調子で現在まで飼育しつゞけるには非常な忍從と努力が要つた

『この保險牛が――』と部落の人達から愛撫されてある東北簡牧監督の明津里町の保險牛こそ先月の初め亡くなつた林昇喆さんのなみ〳〵ならぬ指導と保護のたまものなのだ、個人で牛を飼育するまでにはまだ〳〵家計の許さない部落では保險牛のあることは何よりであつた

人夫二人分が一日の牛の賃銀として飼育者に支拂はれ飼育者に當てられた、飼育者は、年十五円を牛の賃料として部落に納める建前ではそれを貯金し、いまでは牛のお蔭で部落の金が一百円以上にもなつた、部落の保險も牛の金額に依據して增額した、四月足らずの家族で三百五十口の加入件數をもつ部落は五人家族で三人までが加入し每月の保險料も二百円以上になつた【村山特派員記】

議論より實行だ

江口總務局長初訓示

總督府の新機構の中に新に登場した總務局の主江口新局長は、就任廿五日目の十八日午後着任した、江口さんは簡潔登廳をすませて總督府に入り直ちに總督、總監に着任の挨拶をなしてから第一會議室に待ち構へた局員一同に向つて次の訓示を述べた

總務局といふところは議論の多いところだが要は實行である、いろいろの議論よりも一つの實行でやつて貰ひたい

入賞作百八點

第九回朝鮮寫眞展

と新作の批判を行ひ美術鑑賞展覽會から審查員があつて初審查を終つた、半島の寫眞文化向上普及に寄與するため京城寫眞聯盟では第九回寫眞展覽會を開催することになり先ほど作品を全鮮から募集、締切日の十五日までの應募作品五百八十三點を嚴選の結果左の優秀作百八點を得たので來る廿日から廿五日まで三越ギャラリーで公開することになつた

【推薦】第一席「祖國日本」紫藤伸吉、第二席「山鹿の朝」加道譽【特選】第一席「漁撈」中村鶴松、第二席「朝の風景」吉川廣喜、第三席「子沼」內藤富吉、第四席「國民學校の朝」鶴岡昇、第五席「旅情」荊木根清彦

【入選】高平破魔男(無鑑查)進藤滿、永田一敏、川倉勇、吉永孫雄(二點)宮川茂(二點)中村外一、林強弘、高平破魔男、河野通準、李鳳鎬、市根井照千代、池田永光(二點)長谷川龍一、金山晴順、鄭漢喜(七點)岡本繁、徐亭變、石川秀男(二點)宮陽(三點)金田順義(二點)松田徹、平山鉉浩、柿元一(二點)橋方治助(二點)岡本眞、五島義夫、武藤武雄、市島九郎(二點)橋本徳雄(六點)木崎博男、松永敏之、清水錫輔、神崎善雄(三點)佐藤廣一、瀧藤三吉郎(三點)射場達夫(二點)清水秀、丁龍根(三點)田中喜男(二點)柴谷鐵風(二點)石橋正章、山浦信夫、伊藤市藏、安藤仁平次(四點)駒木根清彦(五點)坂井喜一、沼嘉久一(四點)石井武文(二點)西村泉光、沼淑雅(三點)紫藤伸吉、金子信一、藤原出雄、鶴岡昇、白川敬雄、古藤鶴雄(二點)

審查總評

山澤三造

今回特に目立つたことは戰後を謳へる婦人の活躍する現象を端的に表はした作品が多かつたことである、自然を愛し、自然に親しみ、生產戰に戰ひ拔く、健氣な農村婦人の姿に頭が下り、一粒の米、一粒の麥も粗末にしてはならぬ感激を覺えた、これを五、六年前のこの種展覽會に比すれば全く隔世の感ありといへよう、最近、凡ゆる資材の入手が困難となつてゐながら作品は何れも素晴らしい出來榮えをみせてゐる、つまり寫眞の出來榮えは機械でもなければ材料でもない、作者の研究努力にあるといつてよい、本展覽會も既に九回、後々時局認識の度が加はり社會の敎化に資しようとする眞劍な態度がみはれて來たことは新しい寫眞道の創造といつてよからう

話題特急

☆……逸早く冬の訪れが迫つてゐるにも拘らずカナダでは燃料の不足が甚だしく石炭の家庭配給など及びもつかない現狀にある

☆……リスボンに着いた情報によるとカナダ當局は一般市民に對し最寄りの山林地帶にある樹木を伐採して冬季の燃料に充つる樣に勸めてゐる

☆……ところがバンクーバーの市當局はこれに應じて市民の出勤を取りやめ週末休暇を利用して近傍の山林に出掛ける事を懸命になつて勸めてゐる

☆……これに就いて右の情報が傳へるところに依ると、バンクーバーの一有力新聞は『バンクーバー市には最寄りといつても五哩以內の處に森林なんかありはしない、ガソリン不足の今日この遠さか枯木を集めに汽車の旅でもあるまいし』

☆……と皮肉な意見を述べて當局の燃料對策の無能振りをこきおろしてゐると【東京電話】

バカチエ藥話

活力增進に 諸障害に
製劑ほるもん聯合
コムボルモン 男性用 女性用
文獻說明書 呈
發賣元 大阪市東區道修町 日本藥品洋行
製造元 國際ホルモン研究所

秋はお肌の手入れ時
城門 タイナクリーム

代用品時代に之だけは純正品
モビアン藥用クリーム
モビアン洗顔クリーム
リヤハクリーム
リヤハ藥用クリーム
にきび、そばかす、吹出物に！
高尚な化粧に、整肌、若返りに！(全國藥店、化粧品店、百貨店にあり)
本舗 大阪 東京 大陸化學研究所

女性に
エス球
生理不順から腰痛、冷え症、のぼせ頭痛など、婦人疾患は、エス球でしんからのお手當が大切です。一日一球で朗かな健康を呼戻して下さい。
東京・本所・原町 吉松商店

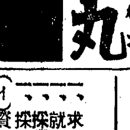
月やく とどこうりお困りの方や御心配の方
ヒノデ本家

四百四病 自の魂 克服實驗
感激の治病快報
最近神經痛で足腰の立たなかつた方が自の魂を僅か四日間の使用で全治し名譽の遺家族として遙々と上京が出來たと云ふ感激の禮狀を寄せられました
冬は特に神經痛、婦人病、胃腸病、喘息等の病人は注意して自の魂で完全治病を心掛けて下さい
京城府本町 雄工社京城營業所

三五ミリ フイルム
ベスト八枚撮 一本七拾錢
ブローニー八枚撮 一本九拾錢
京城府旭町 ツバメ寫眞機商會

火災保險 海上保險
朝鮮火災
京城府太平通

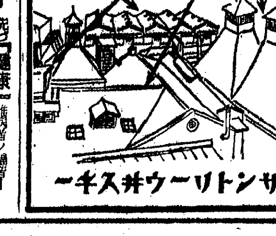
弱い兒を丈夫にし
姙產婦と
リキシン
病人に元氣をつける

胃腸強化に！
感冒の豫防に！

樋屋奇應丸

御斷り
今般「城寶演藝部」提供による不二洋子一座公演は止むを得ざる事情に依り中止と相成りましたから惡しからず御諒承下さいませ
尙當る廿五日よりは
東寶映畫 エノケンの 磯川兵助功名噺を 封切致します
京城寶塚劇場

らい病新治療劑
發見創製
高木化學製藥所

工員緊急募集
求人者 就業場 採用人員 採用條件
(イ)資格 (ロ)業務種類 待遇條件 (イ)收入 (ロ)宿舍 (イ)提出書類 (ロ)申込締切 (ハ)銓衡日時場所
(ニ)其ノ他 (ホ)採否決定 赴任方法 (イ)期日 (ロ)旅費
咸鏡北道清津府 清津職業紹介所


サントリーウヰスキー

斷食
先づ「健康」
早川斷食寮

十一月廿二日午前十一時　慰靈祭
敦岩町母校新築校舍ニ於テ故恩師並會員ノ慰靈祭ヲ行ヒマス御遺族ノ御參拜ヲ御願申シ上ゲマス
京城女子技藝學校
芳蘭會

父吉太郎儀病氣療養中の處藥石効無く十一月十七日午後六時十五分死去致候間此段生前の御厚誼を謝し併せて御通知に代へ候
追て葬儀は十九日午後一時[illegible]に於て相營み可申候
昭和十七年十一月十八日
男 兒玉清右衛門
親戚代表 松宮長兵衛
友人代表 小林

組長淺見臣雄母ササ子刀自豫而郷里福岡自宅に於て病氣療養中の處藥石効無く十一月十七日午前一時三十分永眠致され候間生前辱知諸賢の御懇情に深謝致すと共に此段謹告仕候
淺見組
外 組員一同

出ますぞ洗濯石鹸 今月は一世帯へ二箇

洗濯石鹸の悩みが解消する、京城府では洗濯石鹸の配給遲延を緩和するためかねて業者と打合中のところ、十八日府内三千二百業者中八百四十七店を各町會指定店に選び小賣販賣の適正と配給の公平を期することゝなつた、今回の指定店は府内業者の約三分の一を占め町會と小賣業者を結びつけた點に特性があり登錄制によつて今月分は一世帯二箇宛必ず購入出來ることゝなつた、統制の要項は

一、家庭用洗濯石鹸の配給は切符制によらず各愛國班に割當て順番購入の方法に依る
二、府は各町會に對し夫々世帯數を基準とする割當販賣量を定め之に相應する販賣業者を連絡指定せしめて販賣する
三、町會總代は府から割當販賣量並に販賣業者を指定せられた時は各區、班の世帯數に應じ夫々の割當販賣量を定めた上販賣業者を選び之と連繋の上購入日時その他必要事項と共に各區、班長に指示する
四、愛國班長は割當指示を受けた際は購入日時その他必要事項を班員に指示する
五、消費者は現品購入の際販賣店備付の帳簿に記名捺印する
六、町會總代は各愛國班の世帯數と購入日時を定め各愛國班の世帯數と共に之を受持販賣業者に連絡する

なほ指定販賣店以外の約二千七百店にも相當自由配分品があるので大家族を有する需要者は從來通り自由に購入差支へない

三月の講習で試驗も及第 彌生町娼妓さんの國語進軍

"私達も國語を常用しませう"と彌生町貸座敷組合の娼妓百十五名からなる興亞女子青年隊ではさる八月廿日から同組合事務所で毎日午前一時から二時間國語研究會を開いて國語全解に努めて來たが、このほど三ケ月の講習期間を終へたので鍾路町國民學校職員の講師が全員を試驗した結果、その殆んどが合格したといふ好成績を擧げ國語常用を目ざす娼妓達の熱意を示した、なほこの終了式は來る廿日午前十一時から隊長竹内晟治氏はじめ來賓有志多數列席のもとに同組合事務所において行はれることになつた

城北町では第二次講習

徴兵制實施を目睫に控へ半島民衆は國語習得に大童となつてゐるとき、城北町會では去る八月から町内愛國班員達の文盲退治に乘出しこのほど終了式を擧行したが、なほ同町會では十九日から第二次國語講習會を開催する

淑明校の耐寒行軍

淑明高女では十九日午前七時、野村校長以下全校六百餘名の生徒が鷺梁津に集合、四中隊を編成して鷺梁津驛、星山先生に引率され仁川まで耐寒行軍を行ふ

工夫創意に"成る程ね"… 田中總監、最終日の燃料展へ

十二日から丁子屋四階で開催中の總力聯盟主催『戰爭と家庭展』へ十八日午後三時過ぎ田中政務總監は上瀧總務局長を伴つて會場に姿を現はした、總監は係員の說明にいちいち頷きながら陳列品を丹念に見廻り、煉炭を掌にのせてはその輕さを比べて燃焼力の強さに"ホホウ"と感嘆、さらに新燃料厚生煙突の模型の前では『こんな裝置で大きな煙突に熱が廻るものかね』と質問、矢つぎばやに質問の雨を浴びせて戰時燃料對策への關心を示し、次いで屋上で實驗を見學するなど二時間にわたつて熱心に見學三時廿分引上げた【寫眞＝燃料展に見入る田中總監】

優良創案者へ 賞品を授與

田中政務總監の來場を最後として十八日終幕した丁子屋四階の『家庭燃料展』に有煙炭、木炭、薪に代る無煙炭の使用奬勵を目的として各種新型燃燒具の展示をはじめ科學的な燃料節約法などを圖表に表して觀覽者の人氣を煽つたが中にも大久保東氏考案の斜通風式煙突焚口の圖解表は、最終日に近い十七日漸く會場に間に合つたが從來の煙突口の缺陷となつてゐた立通風式を根本から改造して燃料節約上にも大きな貢獻をするものとして一等賞の榮冠を得た、かくて十八日午後三時から燃料節約に協力した燃燒器具創案者中の入賞者を貴賓室に集めてすでに發表した『燃燒器具審査賞品授與式』が上瀧總務局長、津田聯盟宣傳部長臨席の下に行はれ、煉炭コンロ四名、改良焚口四名、同ストーブ四名、同煙突焚口四名へ賞品および賞狀が贈られ同三時半終つた

一等の大久保氏談

一等の榮冠をかち得た大久保氏は語る
斜通風式煙突は無煙炭專用で使つてゐる無煙炭爐の直立型の焚口を工夫改造したもので直立型のものは細長い燃燒室を十尺深く掘つて造らなければなりません、燃燒室を細長くすると同じ通風力を短い傾斜爐で得ることにしただけのもの考案といふよりも一寸した思ひつきに過ぎません

慰藉料を獻金 立派な心意氣

"私の子供が不慮の死を遂げ、多額の慰藉料を戴きましたがこれも戰死したと思へばこのお金は私すべきものではありません"と鷺梁津へ百円宛二百円を十七日龍山署へ獻金寄託した婦人があつた、これは青葉町三ノ一二一雜貨小賣商光延順姫さん(三五)で長男志永ちやん(三つ)がさる十一日午前十一時ごろ青葉町三ノ一〇七田村宅の石垣倒潰のため壓死を遂げ田村氏から慰藉料を贈られたところ順姫さんはこの金を葬式費用に使つた他全部を獻金したもので係官を感激させてゐる

感心な兩君

三淸町三五ノ七七齋洞國民學校二年生金山沐國、川本泰成兩君は去る十日學校から歸途、路上で現金百八十円入りの風呂敷包を拾ひ昭格町派出所に申出て謝禮金として貰つた三円に自分の學用品代を節約した二円を合せて十八日鍾路署を訪れ、五円の獻金を寄託した

獻金 十八日京城本町署へもたらされた國防獻金 二百十一円四十錢旭町一丁目第六區愛國班、さる十月同區で賣拂した甘藷利益金▲百円西四軒町八三竹下泰藏氏▲六十円本町四吉松清氏▲十円彌榮朋さん

私立學校兒達の勇士慰問 街の慰問袋

◇……"傷兵を慰めませう"と府内私立初等學校十八校のヨイコドモ達百廿名はそれ〴〵各校長に引率されて十八日午後一時過ぎ龍山陸軍病院分院を訪れ、慰問學藝會を開きました

◇……白衣の勇士達はこれも慰問のリンゴを頰ばりながら兒童達が繰展げる合唱『九段アルバム』他十八種の可愛らしい遊戯や歌、踊等にすつかり童心にかへつて、大喜び【寫眞＝慰問學藝會】

新堂町に派出所を新設

町内の發展に伴ひ、先般府内新堂町々會では從來の三ケ町會を十一ケ町會に編成したが、東部住民の迅速なる連絡協調を圖るため城東署では治安の强化を期して同町三八九に新たに派出所を設置することになり、目下工事を進めてゐる、來る十二月末頃は竣工の模様で、東部治安の警備陣を布くことになつた

城南中學教練査閲

府内城南中學校では戰時下學徒の士氣を益々昂揚すべく配屬少佐を査閲官に迎へて去る十七日正午から同校々庭で教練査閲を行ひ、午後三時終了したが、三年の國語技、四年の銃劍術は異彩を放ち査閲官からも頗る良好であるとの講評があつた

三ケ月間燃え續け

去る八月馬場町三國商會の石炭貯炭場からガス發生が原因で自然發火、今日まで丸三ケ月燃え續けて去る十六日やつと鎭火したが、消防署の手で鎭火したが、同貯炭場は地上廿尺に七千五百トンを積載したもので、損害約二萬餘円の模様で、目下所轄東大門署では嚴重取調中である

鈴城所長勇退

府内阿峴町八五財團法人京城救護會所長兼常務理事鈴城雄石氏は昭和十年就任以來七年に亘つて司法保護事業に多大の功績を殘して去る十月卅日勇退したが、新所長は京城刑務所々長森德次郎氏とこのほど決定した

千圓を寄附

年末へ溫い心遣り…京城旭町一樋口豐三郎氏は寒さに向ふ貧しい人への思ひ遣りからその救濟資金その他の費用にと、愛息威男さんの一周忌を記念して十八日千円を旭町一丁目町會に寄附した

白衣勇士慰問

仁川府花町女子青年隊員からなる素人演藝隊廿名は來る廿一日午後一時龍山陸軍病院分院を訪れ、歌や踊りで白衣の勇士達を慰める

淺見マサ子刀自 (淺見組々長母堂) 十七日福岡で逝去した

米の勝手持込み絶對許さぬ 府内の地主に警告

自家米といつて勝手に持ち込んではなりません……と戰時下の食糧規正を圖るため京城本町署經濟係では十八日午前九時半、管内に居住するおもだつた地主三百七十名を同署に招いて訓示警で正藤署長から飯米への協力を求めたが、終つて草野主任から『いかに自家米でも無許可で搬入したり、虚僞の家族人數申告を行つて定量以上の米、麥を占めた場合には嚴罰に處する』と地主側へ希望意見を述べ同十一時解散した、なほ地主の飯米申告は十八日から受付を開始した

半島縮刷版

茂る"龍膽"を發見 南方病に特効の薬草

【鎭南浦】平南龍岡、江西兩郡の一帶は藥草の採取地として知られてゐるが、又も龍膽といふ貴重な藥草が山野に繁茂してゐることが判明したこの藥草は氣溫の高い地方の風土病に特効あるものでこれを南方各地で戰鬪してゐる皇軍將士に送らうと鎭南浦では鎭南浦生藥生產統制組合を通じてその採取に大童となつてゐる

一月間で國語會話

【醴泉】醴泉農作組合聯合會に地方職員國語講習所共同主催の下に開催した家族國語講習會は去る九月上旬より卅名の受講者を收容し毎夜アイウエオから教へて來たが、僅か二ケ月を經た十一月の今日では簡單な會話くらいは話せるまでに至つた、なほこの驚くべき進歩にすつかり氣をよくし指導者も大いに張り切つてゐる

全北の籾供出好調

【全州】米穀の增産と出荷の徹底は兵站道全北に負荷された重大使命の一で道當局では戰時食糧確保の萬全を期するため去る十月十五日早場米買上を實施して玄米六萬石の買上に成功したが、引續き籾共販を實施、各郡面の行政機關は勿論全北地主報國聯合會の後援を得て涙ぐましい出荷運動に邁進した結果、各地の共販は順調に進み十五日現在で十八萬八百七十九叺の共販成績を擧げた

光州で科學展開く

【光州】次代を荷ふ青少年に科學する心を涵養して東亞の盟主となる將來の指導者錬成に一段の力を注ぐため、全南教育會と科學教育會共同主催の"科學展覽會"はいよ〳〵二十一日から光州西中學で開催することになつた、會場には全南道内の國民校兒童中等校生徒職員が精魂を打込んで製作した出品物が陳べられ一般參觀者の科學する心に拍車をかけることゝなつた

"秋蝦"四倍もの豐漁

【光州】全南羅老島近海における秋蝦は近年未曾有の豐漁である、十月中旬から本月十五日まで三百隻出漁し漁獲高十六萬貫に上り前年同期に比し金額において四倍の激增となつてゐる

やつと解決した流筏問題

【咸興】江界水電、梨上ダムの建設に伴ふ長津江より鴨綠江本流に至る流筏問題はこのほど解決、木材搬出對策としては伐材は湖上曳筏し東門日里に陸揚げしさらに搬材軌道により專用鐵道に聯絡することに決定、いよいよ狼林山脈を越えて鐵道により平壤、京城方面に搬出されることになつた

"馬の鍛錬場"開く

【沙里院】時局柄馬の鍛錬は重大なので鳳山郡では四千二百坪に亘る廣い"馬の鍛錬場"を設置すべくかねて工事中のところこの程竣工したので去る十五日午前十一時から晴れの開場式を行つた

愛國班長にも教練

【平壤】總力運動の先陣を擔つてゐる愛國班長に軍事教練を施しての精神を把握せしめ一般班員のよき指導役たらしむべく平壤府聯盟では管内三千愛國班長を各町別に集めて十八、九の兩日に亘り教練を行ふ

雜穀供出にも奬勵金

【坡州】郡では明十八米穀年度食糧需給の調整上遺憾なきを期すため今十七年産雜穀(豆類を除外)の出荷を促進すべく郡聯組合で買上させこの買上に對しては時局右に對し左の通り奬勵金を支拂ふことゝなつたがこれで米穀外の雜穀も以前より大量に出荷するものと見られてゐる
▲大豆石二円五十錢▲蕎麥一円五十錢▲粟二円五十錢▲黍一円▲玉蜀黍一円七十六錢▲稗一円▲蜀黍一円五十錢▲綠豆一円▲小豆一円五十錢

藁工品の生産督勵

【大田】忠南道では明年度以降に藁工品の各郡生產量を割當て濃厚な督勵を加へることゝなつたが、生產目標數量は叺八百五十萬枚、叢繩三百萬貫で時に冬の農閑季を利用各自責任數量達成に一段の奮鬪を呼びかけてゐる

ラジオ 19日

朝 七・〇〇 瑞穗の國の傳統 2 朗讀『吉田松陰書翰集』朗讀文學推薦入賞作)菅原兵治▲八・〇〇 今日のお知らせ▲八・二〇 同(鮮語)▲九・〇〇『わが村の生活』靜岡縣田方郡北狩野村々長▲九・三〇 國語會話の時間(朝鮮家庭向)放送回覽板(鮮語)▲一〇・〇〇"オルスバン"川口周子他▲一一・〇〇 四年生の時間—劇『萬壽姫』大阪放送劇團

晝 〇・三〇—ピアノ獨奏シューベルト作曲軍隊行進曲小園登史子 2チエロ獨奏リー作曲ガボット大塚楠男▲一・〇〇『鄕土愛と鄕土の力』上泉秀信▲二・〇〇 六年生の時間お話と實演『宋廣がり』三宅藤九郎他▲二・三〇 甘藷の話(鮮語)金泰守▲四・〇〇 敎師の時間は休み▲四・三〇 科學物語『水の働き』(鮮語)青松中央中敎諭

夜 六・〇〇 私達の擁護日記—太田登志雄作—名古屋放送子供會▲六・三〇 大東亞文學者大會から歸りて(鮮語)兪鎭午▲七・三〇 國民合唱"子を頌ふ"(指導)鳴海信輔▲八・〇〇 1長唄"千社札"芳村伊四郎ほか 2浪花節"村上喜劍"京山華千代▲九・〇〇 舞臺劇"新體制女中"—獅子文六原作(鮮語)—京城府民館より中繼—(演出)江口龍

永遠の女 (23) 牧洋(作) 岩本正二(繪)

誤解 (二)

風がさつさつと吹いて、樹々は暗闇の中でざわめいた。部屋の中では、農夫雄と妻のリエが、何か言ひ爭つてゐるやうすだつた。

『白狀しなさいよ』

と、リエが迫つた。

『何を云ふんだ、お前は』

と農夫雄。リエはまたじやけんに言つた。

『小百合……くさいわ』

風の音でふつと中斷された。

『馬鹿、馬鹿』

農夫雄はあら〳〵しく罵つた。

小百合はもうそれ以上、きくに忍びなかつた。彼女は、戰くやうに夢中で風の中をさまよつた。

小百合は一睡も、まんじりともしなかつた。翌朝起きると、頭がずきずき痛んだ。朝飯を濟ませ、ちよつと京城に行つて來ますわと農場を出た。風の後の、からつと晴れた日だつた。小百合は、水色のワンピースに、紺色のコートをたゝんで腕にかゝへてゐた。

清涼里驛で下りたが、別にあてもなかつた。とに角、電車にのり鮮銀前でおりて、本町を歩いた。くしやくしやする感情のあらしをどうしようもなかつた。丸善に入つて、文學書をあさつたり、明菓でぽつねんとお茶を喫つたりした。もう、晝すぎだつた。疲勞と空腹を感じた。金剛堂で遲い食事をとつた。それから逆戻りして中央郵便局に入つた。封緘葉書を買ひ、石井軍三宛に走り書した。

一萬円のお手紙拜見致しました。一萬円もころげこむとは、流石に金山の朝鮮らしいゴールドラッシュを思はせて、ほほゑましく思ひました。しかし、本當をいへばわたしはうんと泣きたいのです。みんな寄つてたかつて、わたしをいぢめるとしか思へないんですもの。

今、わたしはあてもなく、旅行に行きたくなり、農場を出て來ました。當分はお目にかかれません。

亂筆。さよなら。　　小百合

投函して、時計を見ると、もう三時近くなつてゐた。小百合はいそいそと局を出た。電車で京城驛に行き、平壤までの切符を買つた。

その日の晩、小百合が平壤に着く頃だつた。農夫雄は、恰度七時頃農場を出る汽車で京城に向つた。小百合を尋ねる積りだつた。清涼里で下り、驛舍に入つて電話をかりた。京城は夕方から、急に曇つて雨になつてゐた。軍三を呼び出した。折よく彼は居た。

『もし、もし、僕、山田農夫雄です。ここは清涼里の……』

『あゝ山田さん。よく電話くれましたわ』

『小百合ちやんに會はなかつたですか』

『いいえ、實は、僕小百合さんからの手紙を見て、あんたの所へ出掛けようと思つてた所なんですよ』

『はあ、どうも…どこへ行つたんでせう』

『とにかく、お會ひして話しませう。長谷川のプラタヌで……どうやあ』

農夫雄は、驛前で電車にのり、市内へ急いだ。軍三は洋服に着かへ、そそくさと南山町の家を出た。

二人がプラタヌで話し合つてゐる時分、小百合は平壤驛前の內地人旅館に入り、お湯につかつてぼんやりと考へに耽つてゐた。農夫雄達が、あわてふためいてゐるかも知れぬと思ふと、ちよつと小氣味よい意地わるな氣持もした。

やがて、農夫雄は、『軍三さん、今夜は一杯やりませう』と、茶房を出た。步道の水溜りに、電燈の光を宿した夜霧が、そぞろに情緒をそゝつた。二人の影は明治町通りへ、消えて行つた。

新刊紹介

▲東亞の日本人(伊地知則彦著)恩師から戴いた二首の和歌をもつて京城を…(以下判讀困難)
▲マレー民族(野村眞吉著)…新京特別市中央通…

婦人公論 十二月號 十五錢

大東亞戰爭一周年記念特輯
回顧一年と新たなる決意(座談會)
公に奉じる心……倉田百三
戰地から母への手紙……井出光太郎
「あきたこの唄」 流れる北國の水……片山敏彦

イチバン新しい中學講義錄
◎半島獨學青少年のよろこび
◎一年三ケ月で中學全科卒業
無學は男の恥
今から大に獨勉強しませう
▲中學講義錄で獨學勉强するなら文部省中學校令により僅か一年餘の特急スピードで中學校の全科を卒業せしめるといふ、最新中學講義錄が一バンよい。
▲されば國民學校卒業後上級の學校に行けないで悶々としてゐる有爲の獨學青少年や、商店の丁稚を抱いても學費と時間に惠まれぬ勤勞青少年諸君には家業の傍ら朝晩で自宅獨習で中學が卒業できるの一番の道である。
▲會社に出て成功するにも、どうしても中學程度の學力が必要だ、殊に躍進日本に生れた僕達は無學は大禁物。されば此の秋から中學講義錄で…
▲入學すると東京一流の中學校の先生方二十餘名が、親切丁寧に添削を添えて…
見本一冊進呈 ハガキで左記へ申込めば入會案內と見本を一冊づつ無代で進呈(アトで忘れて後悔しますぞ)
東京市牛込合町四十四 東京豫備學校出版部

城寶樂劇團 府民館進出公演
白熱的超人氣 二十日(金曜日)限り!
プログラム 一、明暗一景 二、歌ふ城寶十二景 三、新體制女中三景 四、城寶傑作集十六景
晝夜二回公演 入場料一、二〇セン均一 稅共 晝一時開演 夜六時半 府民館

校長 從三位勳四等男爵 沖貞男
中野高等無線電信學校
東京市中野區江古田 電話中野七〇五三・五九七三 寄宿舍完備

活動俳優 艷麗光澤寫眞
東寶、松竹、日活、新興、大都其他各社のスターを優秀な寫眞技術と多年の經驗によるアカぬけのしたスバラシイ高級光澤寫眞!御用命は最寄!ハガキを下さればドナタ樣にも美麗な說明書を無料で送る
愛知縣豐橋市公會堂前 ひかり社

オネオネオギー
疲勞體が回復して元氣が盛上る
丈夫な人でありますと疲勞してもいしの休養で恢復しますが、元來體の弱い人や今まで激しく働いた後の細胞は、さうはいかず、心身は疲れやすく、頭が重くなる、四肢は懶い―といふやうに全體がグッタリとなり再び元氣を取戻すまで容易ではありません。
それ故、かやうな人は早く疲勞を忘れる工夫を講ずるのが肝要であります
ネオ ネオギーといふ藥物は、疲勞恢復になくてはならぬヴイタミンBその他多種の貴重成分を配合してあるので、これが服用は、疲勞を回復し體力を快回するために全く適切と思ひます。一日三回、定量をのんでゐると、體の調子がとてもよくなり疲勞は癒え、血色よく體重も增します
購入の方法 發賣は約一月分一圓五十錢・徳用三圓、九圓。各藥店にあり直接には左記御製元へ便宜の方法で御送金あれば至急發送す。
東京小石川區久堅町 日本微生物研究所 振替東京五六八二一番

公示催告

昭和十七年民甲第三五〇六號 公示催告 京城府大和町二丁目四十一番地申立人…(以下判讀困難)

商業登記公告

○商號變更 ○商號新設 [illegible]

判決

昭和十六年民甲第七八四號 判決 …(以下判讀困難)

公示催告

昭和十七年民甲第一四五九號 公示催告 …(以下判讀困難)

花柳病專門 恒松醫院 府廳前太平通入口 電光二〇〇二

置裝聲擴 製造・販賣・絶對保證附 (要ズ切手ヲ送レバ要目錄) 京城無線電機製作所 本町二丁目六三番地 電話本局(2)1251

朝日性病科 包皮整形外科 電本(2)六七

代理店募集 京城府本町二ノ二七 朝鮮中部防火協會

産婦人科 (入院隨意) 醫學博士 橋本吉藏 京城府岡崎町七 電龍山五八〇番

京日案内廣告の御用命は 京城府林町 電本局八五六二番 京日案内廣告社

文房具卸商 東光堂 京城府西四軒町 電話(2)三一七〇番

日本タイプライター株式會社 京城支店 電話本局(2)九二三、七〇八四

採用 一、商業學校出身者(簿記に堪能なる者)二名 一、年齡三十歲迄の方 興味ある仕事 京城府明治町

內科 好生醫院 漢江通十一 電(4)二四二九 金榮壽

シナカワ ロープ 始業隨時

佐藤內科 一般內科 院長 醫學博士 佐藤小五郎 京城永樂町

乳母 求む 讓店 在庫ある時計店相當 電本八五六二番 時計 求職 寫眞 家庭教師 求職

京日案內 案內料金(前金) 種別 一件一回 稅込 一號型(三行)金参圓参拾錢 二號型(五行)金五圓五拾錢 三號型(十行)金拾壹圓 求職一號型 金壹圓六拾五錢 姓名在社料 每一回 金参拾錢增シ 姓名在社の御照會は午前九時より午後五時まで廣告部へ御問合せの事

衣笠産婦人科 旭町一丁目一八八 醫學博士 衣笠茂 電本5912

ピアノ オルガン 完全調律 修繕 賣買 京城府本町二丁目 電本四五番

文川內科 院長 文川鍾韶 京城府武橋町56番地 毛橋越便(每新橫東) 電話本局(2)8647

洋裝裁縫工 募集 タカラヤ洋裁店

貸家交換 醫師招聘 中外鑛業株式會社

炊事婦入用 白井友之助商店

給仕採用(女子) 朝鮮織染工業聯合會

女子事務員採用 京城工場人事係

採用 京城工場人事係

城寶 十八日ヨリ二十四日マデ 特報 南太平洋海戰實況 逞しき前進 或る女 ニュース
和信映畫館 十九日より二十五日迄 日本ニュース 凱歌高し 笑ひの快速隊
東洋劇場 劇團星群公演 十三日より 李瑞求作『ひまわり』四幕 十一月十五日晝夜二回上演致シマス
城南劇場 十八日ヨリ二十二日マデ 日本ニュース 家庭日記 お市の方
中央劇場 十八日ヨリ上映 ニュース 海の白衣 鞍馬天狗
若草劇 十一月十九日—二十二日 ニュース 海の若鷲 空の神兵 背信
喜樂館 十六日より二十日まで 薩摩の密使 利根の浮島 日本ニュース
京劇 十八日より 日本ニュース 逞しき前進 或る女
大陸劇場 十九日より二十二日まで 日本ニュース 岩と氷 空の神兵 春の誘ひ
浪花館 十九日ヨリ四日間 ニュース ソロモン大海戰 海軍特別攻撃隊 婦系圖
桃花劇場 十九日ヨリ(四日間) ニュース 特別攻撃隊 婦系圖
新富座 十九日ヨリ(四日間) ニュース 家庭防空 日本の母
明治座 十八日ヨリ ニュース 海の白衣 鞍馬天狗
朝日座 十九日より二日間 雲井式部 櫻 加茂川燕樂
若草文化映畫劇場 十六日より廿日まで 獨逸四ケ年計畫 マ坊の敵無艦隊 ホームグラフ 通信隊戰記 日本ニュース 南太平洋海戰

夕刊 京城日報

正しい眼鏡 京城本町二 大學堂

ビゼルタ軍港を占據
チユニジヤ國境に一大激戰
北阿戰線 樞軸軍意氣軒昂

【ベルリン十七日同盟】前線からの報道によれば樞軸軍はチユニジヤ地方の要衝ビゼルタ軍港を占據したと傳へられる

【リスボン十七日同盟】現地よりの戰况報道によれば、佛領北阿に作戰中の聯合軍主力はフイリツプヴイル及びボーヌに降下せる落下傘部隊と合流して東進、十六日にはチユニジヤ國境に到達したが、國境線一帶に待機の有力な樞軸空軍機甲部隊の邀撃をうけて熾烈な戰車戰を展開中といはれ、ドイツ急降下爆撃機隊の集中的猛爆を浴び苦戰に陷つてゐる模樣である、他方B・B・C放送によれば聯合軍先鋒部隊はすでにビゼルタ軍港附近に達したといはれ、更に一情報の如きはビゼルタ、チユニスの中間地點たるメジエルダ河岸附近に樞軸軍と一大決戰を展開中だと冒險的放送を行つてゐるが、聯合軍司令部アイゼンハウアーは十七日の戰况公表においてビゼルタ周邊における戰况報道は聊か先走つてゐると逃々訂正してゐる

前哨戰刻々活潑化す

【リスボン十七日同盟】前線からの報道によればチユニジヤ地方における戰機やうやく熟し、樞軸軍と聯合軍との間に近く一大決戰が展開されようとしてゐる、アルジエリー地方からチユニジヤ地區に向け進撃してゐる聯合軍先鋒部隊はアンダーソン將軍麾下の英第一軍および米軍落下傘部隊で兵力約十五萬と稱され、一隊はボーヌよりの海岸沿ひにビゼルタ・チユニス方面に向け進撃、他の一隊はボーヌ南方二百キロのテベッサより國境を突破してリビヤ國境に近い南チユニジヤのガベスを衝きチユニジヤ地方を南北から包圍する作戰と見られる英國側報道は聯合軍先鋒部隊が早くもチユニジヤ國境を突破しビゼルタ軍港附近で樞軸軍と激戰を交へたと誇大な放送を行つてゐるが聯合軍司令部は十七日夕刻これを否定し樞軸軍地上部隊はいまだ聯合軍と交戰した事實がないと說明した、聯合軍が果して國境を突破したかどうかもいまだ不明でアイゼンハウアーの聯合軍司令部も十六日夜に『ボーヌ東方に向け進撃中』と發表してゐるに過ぎない、目下の戰鬪は主として聯合軍後方輸送に對する樞軸空軍に集中され空中の前哨戰は刻々活潑化し來つた、各方面の戰况左の通り

一、聯合國空軍は十七日チユニスおよびビゼルタを爆撃したが、樞軸軍の增强部隊はその後も續々シチリヤ島から海空兩路によりチユニジヤに到着し、特に獨ユンカース輸送機の活躍が目覺しい、樞軸軍はビゼルタを中心に極めて有利な地域に據り幅僅か二百キロの地中海を扼すことによつて補給路を確保し遮路山岳地帶を來攻する聯合軍を一擧に擊破せんと意氣軒昂たるものあり、樞軸軍の一部は早くも○○港に入つて戰鬪準備を固めてゐる

一、樞軸空軍は地中海上の聯合軍輸送艦船に間斷なき猛爆を加へ十七日ジブラルタルに向け歸航中の護送船團十六隻を襲擊してその半數を擊沈したほか、山岳地帶の隘路をチユニジヤに向け進撃中の地上部隊を攻擊して多大の損害を與へ、さらに英第一軍補給地たるブージー港に百噸を浴びせて波止場に山積してある軍需物資に大火災を生ぜしめた、一方リビヤ戰線ではロメル軍は、依然ベンガジ方面に向け二路に分れて後退を續けてゐるが、一兩日以來同方面における英空軍の活躍は惡天候に阻まれて著しく減退した

スペインに動員令
飽くまで中立を保全

【リスボン十七日同盟】マドリード來電＝スペイン政府は十七日同國の中立を防衛するため國軍の一部動員を斷行した、すでに一九四〇年度徵備兵は十六日召集を了してゐるが、右動員令の發布により各年度徵備兵役も續々召集され國内各地に配置された

【マドリード十七日同盟】スペイン政府は十六日緊急閣議を開催、ついで十七日パルドーにおいてフランコ統領司會の下に重大閣議を續行したが、國際情勢の緊迫に鑑み自國の中立を保全するため動員令を公布するに決定した、動員の目的につき當局はつぎの通り說明した

一、反樞軸軍の佛領侵入により激化された國際情勢の緊迫に關聯しスペイン國民に自國の安全を確信させる

一、スペイン政府が如何なる情勢下においても自國の立場を保持する斷乎たる決意あることを示し、さらに動員令公布と同時にスペイン政府は如何なる外國軍隊もスペイン領内に侵入することを許さない旨宣言する豫定である

北邊の護り嚴たり砲兵隊の訓練（咸北會寧）＝電送

土(トルコ)も嚴正中立
西亞の情勢愈よ複雜

【イスタンブール十七日同盟】地中海戰局の發展以來、トルコ各紙は連日大々的に戰況を報道するとともにリビヤ戰線の推移についてはイラン、イラク、シリヤなど隣接諸國に駐屯する聯合軍の動向を左右するものとして深甚な關心をもつて情勢を重視してゐる、一方カイロ情報によれば英國高等辨務官サー・マイルス・ラムプソンは十八日からカイロに全アラビヤ會議を開催、アラビヤ諸國の協力を名目に英國の政治的支配强化を劃策してゐると傳へられ、西亞の情勢もいよいよ複雜な動きを豫想される、トルコ政府筋では十七日ローマ放送が『樞軸は聯合軍のトルコ侵入企圖を粉碎せねばならぬ』と述べたことを重要視してゐるが、トルコ政府は嚴正中立を堅持し事態の發展を見守つてゐる

簡素化に伴ふ人事
今年中には決定
記者團と定例會見 田中總監時事談

田中政務總監は十八日の記者團との會見において過般の大陸連絡會議の模樣、總力聯盟の新陣容に對する批判及び地方官廳における行政機構の簡素化に伴ふ職員などにつき次の如く語つた

連絡會議の成果 連絡會議は豫想以上に効果的であつた、從來朝鮮を中心にして言へば滿洲、北支、蒙疆との關係は必ずしもよいとはいへないが、朝鮮人問題その他貿易等の關係、特に滿洲との關係については交渉を要する案件が多く良好な關係にあつたとはいへない、吾々が集つても何か奧歯に物の挾つた空氣がないでもなかつたが、今度の會議に出席してみて事實は豫想と全く反し和氣藹々、和やかな空氣の中に話合ひが進められたことは洵に愉快であつた、殊に吾々外地の長官だけの總務會においては全く各各の地位を離れて大日本といふ大乘的な見地に立つて意見を交換することが出來、事務的にも感情の上にも豫期以上の結果を齎した、來年は四月下旬から五月上旬にかけ京城で開催することに決定

聯盟の新陣容 總力聯盟の新陣容については觀る人によつて色々批判もあるが、自分は總力運動を推進して行く上に相應しい人物を選んだ積りだ、一部には今度の顏觸れの中には朝鮮の實情を知らない人が多過ぎるといふ非難も聽いてゐるが、これは朝鮮が醞つた一つのサークルの中にゐるからやゝもすれば獨善狀態になりがちだからこの氣分を一掃するのに新人が必要と考へる、そして全く新しい眼で公平にやつて行くといふことが必要ぢやないかと考へる、自分はあくまでも今度の新陣容によつて聯盟が清新味を帶びて行くことを確信する

行政機構改革 行政機構の簡素化に伴ふ地方官廳の職員は建前として來年三月まで處理することになつてゐるが、これは人心に不安を與へるので可及的速かに處理する考へから、さきの道知事會議でも人事課で出來るだけ早く纏めるやう話しておいたから本年中には纏ること〻思ふ

朝鮮農地開發營團令
近く閣議附議の運び

【東京電話】朝鮮農地開發營團令に關しては農地開發營團理事長、秋山企畫室第一部長、農林局長等が過般來法制局と折衝中のところこの程漸く終了、近日内務大臣を經て閣議に附する手續きを殘すのみとなつた、同令の施行細則も目下總督府で成案中であり近く發布決定と共に公布施行の豫定で早ければ本年中にも實施を見ることとなつた、右營團令は本年四月總督府案がなり、中央との折衝を開始、大藏省との折衝及びその他の關係で遲延し、更に大東亞省設置に伴ふ行政簡素化等を繞る法制局の繁忙、更に法制局係官事務の變動で意外に遲延を來し十月末から法制局係官と第二部長との直接交渉開始により漸く審議終了を見たものである、同營團令は同令に基いて設立される農地開發營團を通じ畢竟開發、水利設備の改善は勿論、旱魃等による積極的農事開發をも行はんとするもので、半島米穀增産に寄與する點は甚だ大きいと見られる

日本恐るべし
グルー重ねて公開演說

【リスボン十六日同盟】デ・モインズ（アイオワ州）來電＝前駐日米大使グルーは十六日デ・モインズ市で開催された公開討論會に出席、對日戰爭の將來性につき次の如き演說を行つた

日本は開戰當時既に强力であつたが今日では世界的强力國家となつた、日本は物質的にも精神的にも自己と同等若しくはより强い國によつてのみ破れ去るであらう、人間として見た日本國民は近代世界において最高の機能に達した組織的威力を有してゐる、われわれは太平洋戰に關して自己欺瞞的幻想を抱いてはならない、われわれは日本軍の進擊を擊退した日こそ勝利への第一歩を踏み出したこと〻考へねばならない、經濟的に見ればいはゆる東亞は戰爭遂行上必要なものはすべて保有してをり猶豫してをれば日本は他日世界最强の國家となるであらう、われわれは一刻も猶豫してはならない、この新なる日本はわれわれに比肩するのみでなく潛在的にはわれわれよりも更に强力な戰爭力を有してゐる、日本は米國が戰爭遂行上の準備を整へてゐないことを恃みとして多大の犧牲を拂つてゐる、すなはち日本は米國の戰爭遂行努力が長期間軌道に乘らぬことを恃みとしてその間自己の潛在的な無敵の威力を强化せんと試みてゐる

亞陸相辭任

【ブエノスアイレス十七日同盟】アルゼンチン陸相フアン・トナッシー將軍は十七日カスチヨ大統領の許に辭表を提出した、後任にはペドロ・ラミレス將軍が就任するものと見られる

ド・ゴールから橫槍
傀儡政權處理に手を燒く米英

【リスボン十七日同盟】ダルランを首班とする傀儡政權樹立に對し俄然ド・ゴール一派が反對を表明して早くも同政權否認の態度に出た結果、從來ド・ゴール派を正式政權として承認して來た英米兩國政府は進退兩難に陷り、ド・ゴール派に對しては百方懷柔に努めるとともに事態の收拾に苦慮してゐる模樣だ、ド・ゴールは十六日首相官邸にチャーチルを訪問、新政權否認の態度を闡明すると共に『英國政府がダルラン提督に對し、自分と同等の權限を與へず、余が即刻樹立し自由フランスの代表たることを闡明すべきである』と主張を打つたと傳へられるが、會談後聲明を發表して『自由フランスはダルラン提督との間に進められてゐる交渉については何ら關知しない』と婉曲に米國政府の處置を要望したといはれ、ド・ゴール派の行動はド・ゴール今回の行動は米英の戰線を大阪支持してゐる模樣で、ダルランはラバール首相に對する個人的復讐を企圖してゐるに過ぎず、佛領植民地に第二のビシー政權を樹立しようとしてゐるとのド・ゴールの主張をもつともだと見てをり從來の經緯を無視してダルラン提督に優先權を與へたことを非難するに傾いてゐると解される、一方米國においてもド・ゴール派の反對が意外に强硬なため、ルーズベルトも十七日記者團との會見席上左の如く聲明した

佛領における政治的措置は戰爭遂行に必要な全く一時的な便宜手段に過ぎぬ、アイゼンハウアーの政治的措置は全く暫定的な措置であり、その意味で余もまたこれを承認した

また國務長官ハルも十七日の記者團會見でこの問題に言及

目下の情勢は純粹に軍事的性質のものでわれわれの最大關心事はたゞ勝利あるのみである

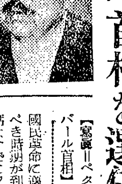
と新政權問題については一切論及することを避けた、しかし米國政府が事態を重視して極力打開策を講じてゐることはハルが十六日海軍長官ノックス、陸軍長官スチムソンと協議を遂げた事實からも充分推察され、近く正式聲明を發表して米國政府の立場につき釋明する模樣と傳へられる

佛の決意を期待
獨外務省、意向を表明

【ベルリン十七日同盟】フランス政府の重大決定發表を前に、ドイツ外務省當局は十七日次の意向を表明した

一、フランス政府は反樞軸軍の佛領侵入に基く新情勢に對處する重要方策を決定したと傳へられるが、右決定は單にダルラン提督の罷免に基くペタン元帥後繼者の決定乃至國家主義分子をフランス内閣に參加させるといふ問題に限定されず、反樞軸軍の侵入に起因する軍事上の對策を含んでゐると解される、決定內容は未だ發表されるに至らないが、ペタン元帥が最後までフランスを擁護する決意を表明してゐる事實に徵しても內容は推察するに難くない

一、反樞軸軍の侵入に對しては軍司令部から發表されてゐる通り獨伊兩國軍がすでにチユニジヤ地方に進駐して萬全の對策を講じてゐるが、歐洲の戰局全般から見ればあくまで重點は東部戰線にあり、反樞軸軍の佛領侵入は要するに國際政局の均衡を幾分攪亂したといふに過ぎない、しかし佛領における戰局が如何に擴大しようとも東部戰線における獨軍の作戰にはいさゝかの支障をも來さないであらう



ペタン元帥後繼者
ラバール首相を選任か

【ビシー十七日同盟】フランス政府は十七日午後さらに閣議を開催し重要問題について協議したが、特にダルラン提督を首班とする傀儡政權の成立、ペタン主席の後繼者決定ならびに樞軸との合作强化案について檢討を加へたと觀される、ペタン主席は腹心プラトン提督を現地に派遣したが、同提督は十七日ビシーに歸還、ペタン元帥に對しダルラン提督をはじめとしノゲス、コルツ、ジユアンならびにシャテル各將軍の動靜乃至意嚮について詳細報告したと傳へられる、閣議の內容は未だ發表されるに至らないが、ダルラン提督の賣國的行動により同提督をペタン元帥の後繼者に決定した一九四一年二月十日の法令は消滅し、同元帥の後繼者にはラバール首相が選任されるのではないかといはれてゐる

【寫眞＝ペタン主席（上）とラバール首相】

ペタン主席に忠誠

【パリ十七日同盟】パリ駐箚大使ド・ブリノン氏は十六日パリで開催された愛國勞働主催の國民大會において一萬の聽衆を前に熱誠溢るる演說を行ひペタン主席に忠誠を强調し左の如く述べた

本日ここに集まられた諸君こそ全フランス國民のペタン主席に對する新たなる忠誠の念を代表するものである、今やフランスがボルシエビズム打倒に協力し從ふであらう、全國民は一致團結してフランスの有する偉大なる國民としての地位を維持するやう努めねばならぬ

佛首腦長時間協議

【ビシー十七日同盟】フランス政府主席ペタン元帥は十七日午前ラバール首相を招致、長時間にわたつて協議を遂げた

在滿半島農民の
米穀出荷を促進
新京で協議會開く

【新京十八日同盟】滿洲國農產物出廻期を迎へ全滿一齊に展開されつゝある出荷促進の猛運動に呼應し滿洲產米の大宗をしめる在滿半島人農民に對しても積極的に米穀出荷促進に協力せしめる運動が開始せられることゝなり、十八日午後一時新京協和會第一會議室に全滿有力半島人代表四十四名參集、米穀出荷促進協議會が開催された

滿洲產米穀は大東亞戰完遂上の食糧資源として重大な意義と使命を有するものであり、これが出荷成績の良否は鮮系農民の雙肩にかかつてゐるにかんがみ協議會には關東軍、興農部、協和會、農產公社、興農合作社關係首腦出席、關東軍參謀長の挨拶、興農部次長、三宅協和會中央本部長、半島人農民の持つ使命の重大性を强調、實務の遂行を激勵するところがあつた

とくに今次の運動は單に米穀出荷といふ點に止まらず本運動を通じて在滿半島人農民の皇民化を促進し、その職域による貢獻において完全なる皇民としての自覺を喚起せしめんとするところに大いなる狙ひがあり、半島人農民としても重大なる試金石に直面したわけである、列席各代表は戰時下重大使命を銘記し誓つて目的完遂に邁進せんとの決意を固めてゐるので各代表の現地歸還後の出荷工作展開には至大の期待と關心が寄せられてゐる

獨機、赤軍兵站線を急襲

【ストックホルム十七日同盟】東部戰線は數日來全戰線を蔽ふ暗澹たる白雲が獨ソ兩軍の戰鬪を阻み、南部コーカサス山岳地帶を除き活潑なる動きを見せず僅かにボルガ河東岸地區におけるドイツ空軍部隊の赤軍後方兵站の爆擊が展開されたにすぎない

一、ドイツ空軍爆擊部隊は十六日折からの暗雲を冒しボルガ河東岸地區後方の赤軍兵站線を急襲、鐵道線路並に道路による赤軍輸送に爆擊を集中スターリングラード方面への赤軍補給線を困難に陷らしめた

一、コーカサス戰線では突如全線に亘つて赤軍が行動を起しナリチック南方において有力なる赤軍機甲部隊が反擊に出たがドイツ軍は既設陣地に據つてこれに猛攻を加へて擊退、黑海沿岸のツアプセにおいても赤軍の攻擊企圖を粉碎した

一、スターリングラード北部工場地帶廢墟の攻防戰は引續き繰返され赤軍機關紙『赤い星』は去る四日ドイツ軍によつて占據された北部工場地帶の一部に對し赤軍守備隊が突擊を敢行、吹雪のなかに激烈な戰鬪を交へてゐると報じてゐる

一、カレリヤ戰線は積雪深く今冬最初のスキー部隊が出動した

南阿聯邦の海運麻痺狀態

【ローマ十七日同盟】樞軸潛水艦は最近南アフリカ各水域において大活躍を開始し隨所に聯合國船舶を擊沈してゐるが、その結果南阿聯邦沿岸一帶の海運は麻痺狀態に陷り物資の補給は極度の困難に陷つたと傳へられる、以上の實狀にかんがみ南阿聯邦政府は十六日遂にガソリンの大幅の減配を斷行したといはれる

江口本府總務局長着任

樺太廳内務部長から總督府總務局長に就任した江口親憲氏は去る十三、四日東京で開催された地方長官會議に出席、十八日午後二時京城驛着『あかつき』で晴れの着任をした、驛頭には政務總監代理として石田總務課長をはじめ本府各局長、事務官、總務局代表等多數出迎への裡に、江口總務局長は釜山まで出迎への倉島文書課長と共に長途の疲れもいさゝかの疲れも見せず例の元氣一杯の笑顏を見せて下車、たゞちに本府差廻しの自動車で朝鮮神宮に參拜の後新局長室に入つた

重慶十中全會 第三次本會議

【廣東十八日同盟】重慶來電によれば十中全會は十七日第三次本會議を開催、孔祥熙副院長となり、まづ國家總動員會議委員會報告と、經濟情報告後、生産增進、消費節約、運輸擴充、配給の合理化、金融の管理統制、政權機構の整備、物價統制など財政經濟各般に亘り討論が行はれた

消息

◇水田財務局長 豫算事務打合せのため十九日『大陸』で京城發東上の豫定

◇田中英氏（總督經濟部長） 着任挨拶のため十八日本社來訪

◇丹羽錠輔大佐（京城師團軍醫部長） 同上

◇織田信恒子（日本有機肥料配給社長） 十八日『あかつき』で入城

◇國木鎭雄氏（東一銀行東大門支店支配人） 新任挨拶のため十八日來社

時の錄音

統制會へ愈よ官廳權限の一部を委讓。

×

正に統制會に血液を注入、活を入れるもの。

×

政府の大英斷だが、また當然の措置と知るべし。

×

空中ゲリラを夢見て、蔣米英代表ら軍事會議。

×

反攻作戰などと、まだ寢言を繰返す。

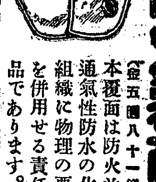
×

少しおとなしくすると、直ぐつけあがる。

×

ボーナス期近づく。今こそ貯蓄報國の秋だ。

盜汗・結核に スクナ（マルホ） 貧血性なき大蒜製劑
3—15回注射による盜汗治療率 重症 86.7% 中等症 83.3% 輕症 93.2%
盜汗を消失せしめたるため結核の治癒に向つて間的好影響を及ぼしたり
（文獻送呈） 製造發賣元 株式會社 マルホ商店 大阪市東區道修町三丁目



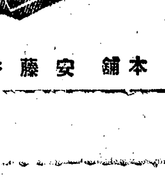
防空 防火に 爆風除 防火覆面（金五圓八十一錢也）
本覆面は防火並に通氣性防水の化學組織に物理の要素を併用せる責任製品であります。 送料 一個十五錢
男女共用（カタログ進呈） 東京青山神宮外苑前（電話青山八九九番） 防火武裝普及本部 帝國防火研究所

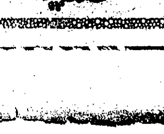
濕布藥 製法特許 ビスメン
痛み・はれ・熱を短時間に取る
副作用なく 効果迅速 藥價至廉
定價 五十錢・一圓八十錢

全國有名藥店ニ有り
感冒咳 痰咳 百日咳 氣管支炎 喘息 から咳
¥.30 ¥.50 ¥1.00
鎮咳 祛痰 サクラシン
カゼビリン本舗 製造元 天星製藥株式會社 發賣元 明和製藥所

發育と榮養に
…缺かさずハリバを適用して、皮膚や呼吸器粘膜を丈夫に、頑丈な骨組を鍛へ十年後、二十年後の健康の基礎を創りませう
ご家庭には…五百粒入（十円五十錢）がお徳用
ハリバ

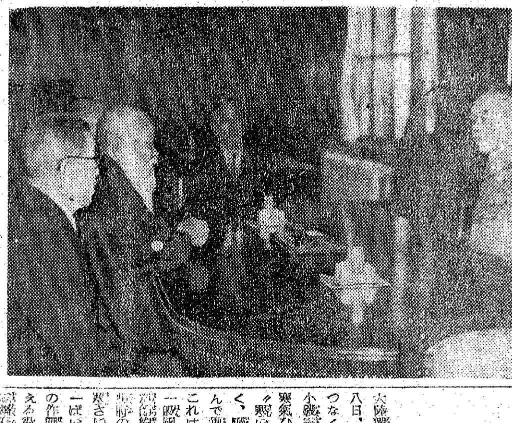
カオール


原料香水 オリヂナル
よいかほりの永く保つ原料香水
芳香一滴！
本舗 安藤井筒堂


朝夕一粒
心臓・胸・胃の弱い方に！
特種動物ホルモン精膽精藥 救心
動悸、息切れ、熱、ね汗を去り、食慾を增す
『救心』原料の種類、麝香・熊膽・牛黃・鹿茸等は、昔は大名の、護身藥や、重病の救急に、今はホルモン療法に賞用され、内臓への同化が早く抵抗ホルモンを增強するので評判！
（藥價）一週分二圓 二週分三圓五十錢 三週分五圓。藥店デパートにあります。
「手當の美本」進呈中
東京市京橋區西八丁堀二丁目十一 救心本舗 電話京橋二〇一一番九〇四番 振替東京七二一六番

田中總監"眞面目な下情"を說く

投書、大いに歡迎 だが、正々堂々とやれ



下情を知ることが政治に如何に必要であるか、時局の緊迫とともにますます重要となり、以來府に於いて民衆の聲を聽くため種々方策を講じてゐるが、これにつき田中總監は十八日の記者團との定例會見席上で次のやうに語つた

最近非常に投書が多く、しかもその內容はいづれも眞劍、深刻な問題のみで私として非常に喜ばされるところが多い、一時代前のやうな個人攻擊や誹謗的な記事を弄したものは殆ど見當らない、これは民衆が眞劍に生活をし、眞面目に總督政治を考へてゐるものと思ふ、非常に喜ぶべき傾向である、しかし全部が匿名なのは一體どういふわけだらう、總督、總監が投書した人に自分の痛いところをつかれるやうなことがあつても、それが眞面目なものであればしつぺ返しをするやうなことは絕對にしない、そんな小役人根性は持ち合せてをらぬ、もつと正々堂々と署名入りで投書して欲しい

投書は大歡迎だ

故谷本中將遺骨けふ東京着

【東京電話】十五日佐世保鎭守府における海軍葬を終つた前佐鎭長官谷本馬太郎中將の遺骨は十八日十五時廿五分東京驛着東京市豐島區目白町の自邸に歸つた

故谷本中將は昨年十一月七日佐鎭長官として着任以來大東亞戰下に管下各地の巡視その他戰力强化に努力しつゝあつたが、去月三十日公務出張より歸朝して翌三十一日夜から高熱を發しクルップ性肺炎と診定以來療養の甲斐もなく遂に去る十一日朝逝去したもので、各方面より痛惜されてゐる

朝鮮の御土産は 富田商會へ

"火の氣"擊退で精進

總督府 低溫生活に陣頭

大陸の寒さを思はせる十八日、總督府の白堊殿は火の氣一つなく構內の何處の部屋はおろか小磯總督、田中總監の部屋までが寒氣ひしくと身に迫る、しかも"寒い"といふ聲は一つとしてなく、職員たちが口を眞一文字に結んで運ぶ筆の音だけが繁しい、これは低溫生活で決戰を敢行して一般國民に範を示し、さうして燃料節約で報國しようといふのが總督府の寒氣擊攘の意氣でもあるが寒さに挑むこの燃料節約戰は今月一ぱい火花を散らすといふ總督府の作戰計畫だ、火と燃える役所の前に寒さも冬もない【寫眞は總督府會計課用度係の部屋】

本府は何しろ廣い、それが火を入れ出すと日に十噸の石炭が要る、つまりこの低溫生活で十一月の一ケ月だけで三百噸も石炭が節約できるわけだ、人間の體質はへんなもので火にあたり出すとあとはあたらないわけには行かない、即ち最初からあたらなければ、或る程度までその主旨で寒さを通せる、本府はこの方針で我慢振へられないかぎり本十一月まではスチームなしに押し通すつもりだ、決して燃料が足らないとか無いのではない、裏の廣場には山ほど積んである及ぶ限りこれを節約して民間に廻し、そして戰爭に勝ち拔きたいからである

"やあ、よくお出でて" 今泉翁、總督を訪問

本社主催『皇道宣揚大講演會』に熱辯の鋒をふるふべく來鮮した今泉定助翁は十八日午前十時半から總督府に小磯總督を訪問挨拶を行つた、高宮本社長の案內で伊藤、川添兩氏を從へて翁が總督室に入ると小磯總督は

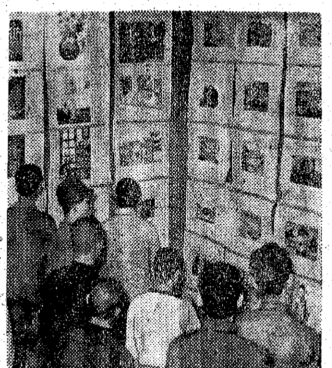
『いやあ、よくお出でになりました、御無沙汰してをります、お障りもなくて結構でした』と翁の老軀を勞はる親切な言葉をかければ今泉翁もまた『閣下も御壯健で何よりと お喜び申上げます』と腰をかゞめるのであつた、机を間に向き合つた小磯總督、今泉翁は東京時代、靑島時代の思ひ出話に花を咲かせて容易に盡きなかつたが、同十一時過ぎ夜の會合を約して總督室を辭去した【寫眞=小磯總督訪問の今泉翁】

建設の表情 聖戰一年 (三)

マニラ

ヤンキイズムで塗り潰された比律賓、米國なしでは到底明日の日も迎へられまいと褒しくも決めてゐた比律賓、自動車のない生活が耐へられるだらうかと只管米國化を理想の道と信じてゐた比律賓だが皇軍ひとたび進駐するや彼等が信じ込んでゐた世界の舞臺アメリカの實體外の蔭と比律賓に示してくれた情勢が、飴細工同樣の彼藏であつたことを身を以て知らねばならなかつたかうして比律賓は大東亞新建設の宴會を血を以て自覺した、マニラの街では馬車たる自轉車が登場した、タクシーに代る三輪車、マニラの街々の喊さしく流れ晴れと明るい【寫眞=あらはれた自轉車】

童心の傑作網羅 けふ、作品展蓋開け



遞信局保險加入者五百萬人突破と契約高十億円達成を記念して遞信局が全鮮國民學校兒童から募集した『全鮮國民學校兒童圖畫展』は十八日から五日間、京城三越四階で遞信局主催、學務局、京日小國民新聞共同後援の下に開かれた、會場には入選した兒童の力作六百九點が壁に貼られ、推薦總督賞の榮譽に輝く黃海道海州國民學校四年石井光枝さんの水彩畫『郵便局』や特選の京城西大門國民學校五年山田ルネ子さんの『郵便ポスト』など、流石は父山田新一畫伯の感化をうけたルネ子さんの筆致には子供ばなれのした味が感づいてゐる

そのほか同じ特選組の新義州二華國民學校六年金崎英子さんの『郵便局』咸南端川國民校四年[illegible]君の『人物』京城東大門國民校三年[illegible]『人物』釜山第二國民校二年宇原美子さんの『郵便局』京城龍山國民校一年佐藤日出夫君の『ウサギ』などいづれも童心の傑作

銘酒 忠誠 大田 長尾醸

拂込增資近き日立製作

本社は周知の如く[illegible]工業に於て本邦有數の[illegible] 安東證券株式會社

皿繪の作品展

心の純眞な眸に映つた見事自然や靜物畫である【寫眞=皿繪展】

時に戰亂的な境地を除つてゐる街の藝術家、京城旭町二〇五金一氏がこのたび公務の暇ら十九點の傑作を並べて十八日から五日間京城三越四階で個展を開いた

叢林は今福氏が夏季を利用して海金剛、華藏、馬場里附近の風光を生擬および京城附近の名所、それに東京で描いた『大隱峠の秋』ある秋園』一點、いづれも皿面をその奈へ利用して素晴らしい裝飾風のものなは同展ではこの陳列に應じその賣上金は本年の地方學校獻納金に醵出することとなつてゐる【寫眞=皿繪展】

養魚場竣成 來月五日開場

總督府が經費三十萬円の豫定で設置を急いでゐた水産試驗場養魚場はこの程京畿道加平郡外西面淸平川里に竣工したので、來る十二月五日正午から同養魚場で竣工祭ならびに開場式が行はれる

戰時下蛋白食品の供給增加が要望され淡水增殖施設の擴充が叫ばれてゐるのに應じてこれが緩和を圖るため昨年十一月に着工一年ぶりに竣工をみたものであるが、敷地總面積は二四、〇七九坪、貯水池水面積は三、六二四坪で將來の養魚生産に多大の期待がもたれてゐる

五年ぶり再會 馬淵部隊長と林總領事

◇…十七日午後朝鮮軍馬淵報道部長が愛馬を驅つて明治町の中華總領事館に林總領事を訪れた

◇…恰度四十名の華僑生徒を集めて訓話をやつてゐた林總領事は舊知の馬淵部隊長訪問に驚喜、『生徒たちのためにお話を一つ』と頼んだところ部隊長は即座に引受け若き中華の學徒たちに日華提携は諸君の雙肩にありと一場の講話をなした、馬淵さんと林總領事とは馬淵さんが中支軍司令部報道部長として上海に駐在時代林總領事は當時外交部通譯司長として公私を通じ親交があり

◇…大東亞戰下、測らずも京城で五年ぶりに落合つたわけだつた

工場健民

産業戰士の增産體力と結核抗病力强化に……

胃腸・榮養・疲勞に

錠劑 わかもと

二日 數錢 20A

けふの市況

株式 閑散化 高周波續騰

前場 環境の騰勢一服等々刺戟に乏しく新規商內は見送られて場面閑散となり短期新東一二九円六十錢と十錢高に寄付き、引値九円五十錢高に寄付き、引値六円八十錢、朝新廿八円十錢と歩みが一本づいたが、高周波のみは東京で人氣の埒外にあつた關係から買進まれて五十七円六十錢と[illegible]を引値は三円六十錢[illegible]と同値に大引した

後場 (保合)引續いて新規商內は見送られて全般的に保合ひを示したが高周波のみは續騰を辿つた

『實物』 一服

實物以下に買込まれた株は若干戻り歩調を示したが、全般的には買氣一服の形で保合ひ商狀を呈した目先も何れかの動機がない限り整理商內が推し進められるものとみられる、主なる出來値左の如し

朝鮮水力八〇、〇▲同新三四、〇▲小林七二、〇—二▲岩村四六、〇▲高周波五四、〇—三▲朝鮮理研三三、八▲朝鮮無煙炭新三九、五▲日鐵新三五、八一三▲昭和電工八〇、八一七▲兵新五二七▲川崎重工新九七、五四▲東洋ベア新七〇、五

大株長短期賣買單位引上げ

【大阪電話】大株では十七日商議會を開きかねて協議中の賣買單位を十株より五十株に引上げの件は意見の一致を見たので長期取引は明年二月の新甫より短期は明年一月一日より實施する

大株實物出來値

川崎新九三、七一四、〇▲東洋五二、一五、四▲大日本[illegible]二、八▲日鐵新八五、五一一六▲鐘紡新一〇五、〇▲〇▲大建[illegible]五▲東洋五、[illegible]▲高周波五三、[illegible]▲南滿五、[illegible]▲大阪[illegible]五▲[illegible]八〇、二▲[illegible]五

債實物 (單位錢)

甲號五分[illegible] 廿三年物 [illegible] 一同四分[illegible] 廿八年物 [illegible] 一同四分[illegible] 佛貨四分[illegible]

株式 (十八日)

朝取短期

銘柄		寄付	大引	高値	安値
朝新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小林	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小林	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩村	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩村	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高周波	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高周波	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大引 前場 一〇・五五分 後場 一分

朝取算定と日步

銘柄	算定	日步	代引
朝新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高周波	[illegible]	[illegible]	[illegible]
短期	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株短期

銘柄		寄付	大引	高値	安値
大新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋紡	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋紡	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新東	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新東	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戶	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戶	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新郵	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新郵	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日魯	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日魯	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
水産	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
水産	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新チツソ	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新チツソ	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株長期 (第一部)

銘柄		大引	高値	安値
帝人	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼管	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼管	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日產	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日產	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大引 前場 一〇・四五分 後場 一分

東株短期 (第一部)

銘柄		寄付	大引	高値	安値
東新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼管	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼管	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株短期 (第二部)

銘柄		寄付	中	引
滿鉄	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鉄	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
洋レ	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]
洋レ	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新小倉	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新小倉	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日魯	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日魯	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新水産	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新水産	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株長期

銘柄		買	賣	取組高
新東		[illegible]	[illegible]	[illegible]
新鐘		[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株長期取組高

銘柄	賣	買	取組高
前場當限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
後場當限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]	[illegible]

發行高 (十七日) [illegible]

現株仲値 (十八日十一時調)

內地株	大阪鐵 [illegible]	北海炭 [illegible]	新[illegible]	鐘紡 [illegible]	日清紡 [illegible]
日新紡 [illegible]	同新 [illegible]	新[illegible]	同新 [illegible]	日本レ [illegible]	東京人 [illegible]
新興人 [illegible]	綿業株 [illegible]	同新 [illegible]	日產 [illegible]	東化 [illegible]	日本曹達 [illegible]
重工業 [illegible]	日本鐵 [illegible]	三菱重 [illegible]	日立 [illegible]	石川島 [illegible]	三菱電 [illegible]

後三國志 (9) 卷の四 成都鳴動 (一)

吉川英治作 矢野橋村繪

宮殿の廂をこえて、月の光は玄德の膝の邊まで射してゐる。妃は、燭が消えてゐるのに氣づいて、侍女を呼んで明りを燈させながら、

『どうなさいましたか』

と、玄德の側へ寄つた。

『いや、……』

『え、唸されておいでになりました』と、妃は[illegible]

『さうか。では、いつか居眠つて、夢でもみてゐたのだらう』

玄德も漸くわれに返つたやうな容顏を妃に見せた。そして和子たちを呼んで妃と共にしばらく興じてゐたが、やがて寢所に入つた。

ところがその夜の明け方。

又も彼は同じ夢をみた。[illegible]

の中で、玄德はその者を叱咤つた。

『(や、わが義弟ではないか。關羽。こんな夜更けに、抑、何しに來たか)』

正しくそれは關羽の影にちがひないのだが、いつもの關羽に似もやらず、容易に面もあげず、たゞ黯然と淚を垂れてゐる容子。そして一言、

『桃園の緣も夢き過去と成り果てました。家兄、はやく兵の御用意あつて、義弟のうらみを雪ぎ賜はれ』

と、云ふかと思ふと、默然一禮して、水の如く、帳の外へ出て行くのだつた。

『待て、待て、義弟』

玄德は夢中に呼びながらその影を追つて、前殿の廻廊まで走り出したが、そのとき暗天一顆の月が飛ぶやうに飛んで西山へ落ちたと見えたので、あつと面を蔽ひながらそれへ斃れてしまつた。

夢は疾くに過ぎなかつたが、彼が前殿の廊で倒れてゐたのは事實であつた。孔明はその朝、常より早めに宮廷の廊へ姿を見せてゐたが、

[illegible]

『荊州が破れました』

『なに、荊州が』

『吳の呂蒙に計られ關羽は荊州を奪はれ麥城へ落ちのびたとかで』

『…ウム。恐らく天文を觀るに、荊州の天に、一抹の凶氣が漂うてゐるやに思うてゐた。さうか。だが太傅、まだその報は、漢中王にお聞かせせぬがよからう。[illegible]をそこねるやも知れぬ』

すると、[illegible]玄德が姿を見せて、

『孔明、さばかりは案じるな。予と、遠くから云つた。』

『孔明、もう驚きは致してをる』

と、關羽の魂も、あらましは察して[illegible]

ところへ馬良や伊籍が來て、又各々の口から、荊州陷落の悲報を傳へた。更に、その日の午過ぎには、關羽の部下廖化が、まるで乞食のやうな姿をして、はるか麥城からこれへ辿りついた。

京日特選 高段者勝拔戰 第五回

(圖は前局2四歩迄)

先番 八段 △齋藤銀次郎 六段 ▲平野信助

持時間各六時間 消費時間 (△一、四四分 ▲一、〇三分)

木村名人講評 [illegible]

上手六五銀、五六銀は勝負形を作らんとする狙で、現狀においてはこれを强要するよりあるまい。

新刊紹介

▲國民總力(十一月號)『新しき時代の分析』大槻憲二、その他時局解說 國民總力朝鮮聯盟

癲癇(てんかん) 再發防止法(全書) ヒキツケ 脳貧血 脳の病 富吉腦藥院學術部

伊豆椿 ポマード 芳香は! 健康意識を明快す 伊豆椿香油本舖 大博芳香園

京城府旭町二丁目八番地 瀨戶 外科 皮膚科 醫院 電話本局(2)二四九八番

ニキビが取れて色白くなる

警防團 服裝品揃ひ 京城製帽店 京城府南大門通四ノ二二 電話本局(2)二六二二番 振替京城一九一〇九

野崎肛門科 京城府岡崎町七(電龍九九三) 入院隨意

肺病 セキと熱に 延齡丹本舖 萬平堂製藥

ひかりコンロ 燃料最經濟 珪藻土製 京城府蓬萊町一丁目一一七 永和商事有限會社 電話本局2351

敬告 店主待テ居ル心配ナク至急居所知ラセ 伊東秀雄

國民保健に ネオトン

性病科專門 洪震求醫院

株式會社 東亞證券

短期 現株 內海淸藏商店 京城明治町

從來のニクロム線を凌ぐ 日本金屬工業株式會社製品 日本電熱線 朝鮮總代理店 株式會社 八木商店京城支店

十九日公開 大陸劇場 空の神兵 陸軍航空本部監修

春のいざなひ ジヤンキープラ主演 東和商事映畫部提供

强力 ルーベリ錠 あらゆる化膿症 急性慢性淋病に 內服短期治療法 製造發賣元 竹村製劑所

和漢合劑 富士胃腸藥 富士屋藥房

月やく 尾本家

御手持株の登錄と速報御希望の方へ 二田原株式店現物部 京城府黃金町二ノ一九九